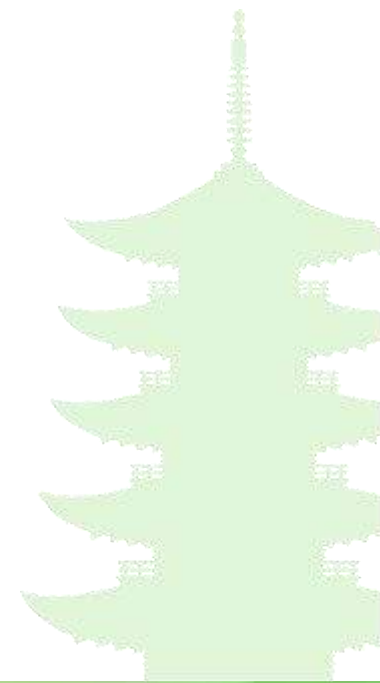




# 第5回山口市総合計画策定協議会 説明資料



# 【目次】

## I 第4回山口市総合計画策定協議会(7/26)以降の状況

### 1 第4回策定協議会(7/26)における御意見等・・・1

## II まちづくりの状況

### 1 広域県央中核都市づくり

#### (1) 政策の位置づけ・・・3

#### (2) 考え方

##### ① サービス施設の立地可能性・・・4

##### ② 分散型都市構造における高次都市機能の集積・・・5

##### ③ 連携中枢都市圏の形成・・・6

##### ④ オール山口の発展・・・7

#### (3) 前期基本計画のK P I (重要業績評価指標)の状況・・・8

#### (4) 小郡都市核づくり・・・9

##### ① これまでの取組・・・10

##### ② 広域ネットワークの強化・・・19

#### (5) 山口都市核づくり・・・24

##### ① 亀山周辺ゾーン、中心商店街ゾーン、 大内文化ゾーン・・・25

##### ② 湯田温泉ゾーン・・・31

##### ③ 情報・文化ゾーン・・・36

#### (6) 都市拠点の機能強化

##### ① 拠点の考え方・・・38

##### ② 立地適正化計画の策定・・・39

##### ③ 人口集中地区(D I D地区)・・・40

##### ④ 農業試験場跡地・・・41

##### ⑤ 山口県立大学南キャンパス・・・43

### 2 「安全安心・都市」分野

#### (1) コンパクトで暮らしやすいまちづくり

##### ① 空家戸数・・・44

##### ② 市営住宅ストック数・・・45

##### ③ その他の取組・・・47

#### (2) 快適な道路交通網の構築・・・48

#### (3) 持続可能な公共交通の構築

##### ① 立地適正化計画と 地域公共交通網形成計画・・・49

##### ② 公共交通体系における分類・・・50

##### ③ 公共交通体系のイメージ・・・51

##### ④ 市内走行路線バス利用者の推移・・・52

##### ⑤ その他の取組・・・53

#### (4) 防災対策の充実

##### ① 地域防災力の向上・・・54

##### ② 浸水対策・・・55

##### ③ その他の取組・・・56

#### (5) 消防・救急体制の充実・・・57

#### (6) 各施策の成果指標の状況・・・58

## III 今後の予定

### 1 策定協議会の今後の予定・・・63

### 2 後期基本計画策定の全体スケジュール・・・64

# I 第4回山口市総合計画策定協議会(7/26)以降の状況

# 1 第4回策定協議会（7/26）における御意見等

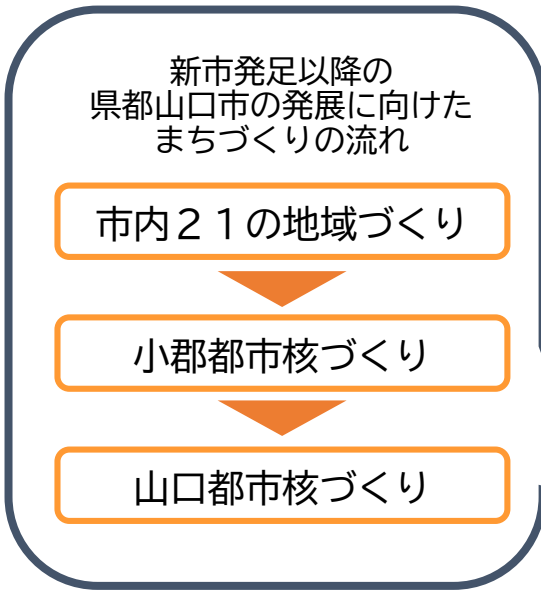
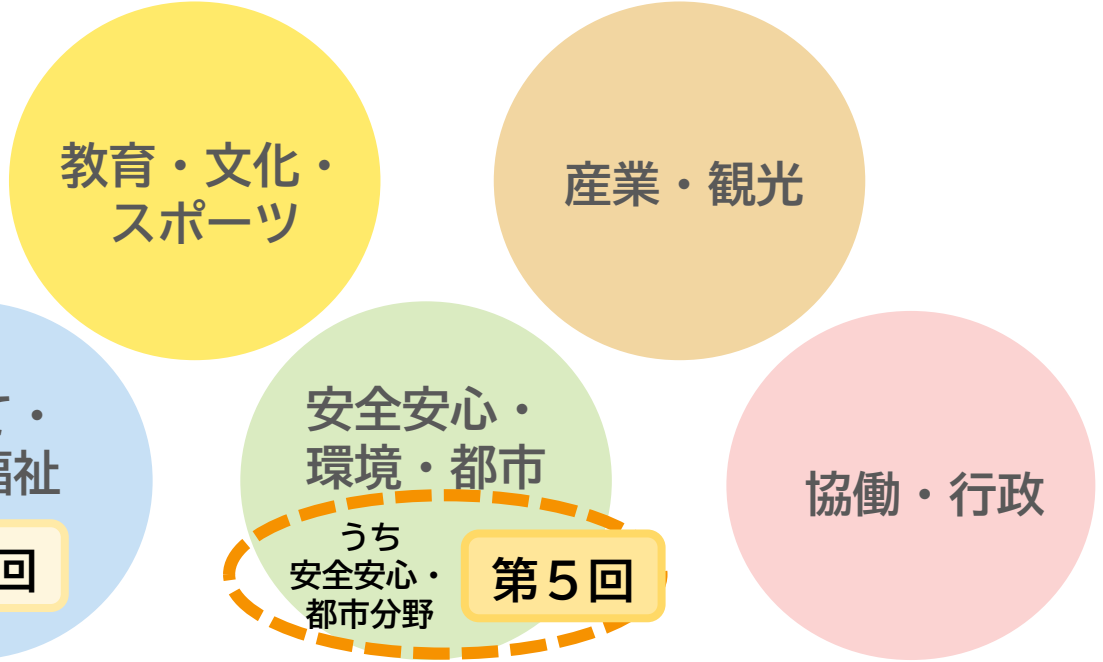
- 循環型社会について、資源を循環させながら経済をしっかりと回していくという世界的な潮流もある。そうした中で、「ごみを捨てる」などの言葉は、不要なものを出すという意識にもつながっていると思うので、「ごみ」や「廃棄物」といった言葉について、できるだけ「資源」と読み替えることができないだろうか。これにより、「ごみ＝資源」という市民の意識醸成も図れるのではないかと思う。
- 本市では、農林業の特化係数が高い状況の中、農業や自然、食の現場にも近いと思うので、そうした本市の特性を生かした子育てができるような施策展開ができればよいのではないかと思う。
- 若い農家の方に対しては、ビジネスの視点で農業に取り組むことも必要ではないかと思う。そうした中で、若い農家の方のアイデアや実行力を育んでいくことも大事だと思う。
- 農産物の県産品活用の認定店になるに当たって、料理によっては、県産品で調達できない食材を使う場合もあるので、苦戦をしている状況。
- 農家の高齢化、後継者不足への対応について、法人化が進み、ほ場整備や大型機械の導入などによる省力化・効率化が進んできているが、法人の後継者がいないという事態も生じている状況。
- ノーマライゼーションやインクルージョンなど、専門用語や概念については、分かりやすい表現で計画に入れ込んでいく必要があるのではないかと思う。
- 高齢者や障がい者との交流においては、施設見学やイベントでの交流という手法のみならず、日常的な活動を一緒にすることで、理解促進につながるのではないかと思う。
- 子育て・健康福祉分野の共通の課題として、無関心層へのアプローチを行い、行動変容を促進していくことが必要ではないかと思う。例えば、父親の育児参加もその一つではないかと思う。

## Ⅱ まちづくりの状況

# 1 広域県央中核都市づくり (1) 政策の位置づけ

第二次山口市総合計画（基本構想）における

## 5つの政策分野



### 都市政策の柱

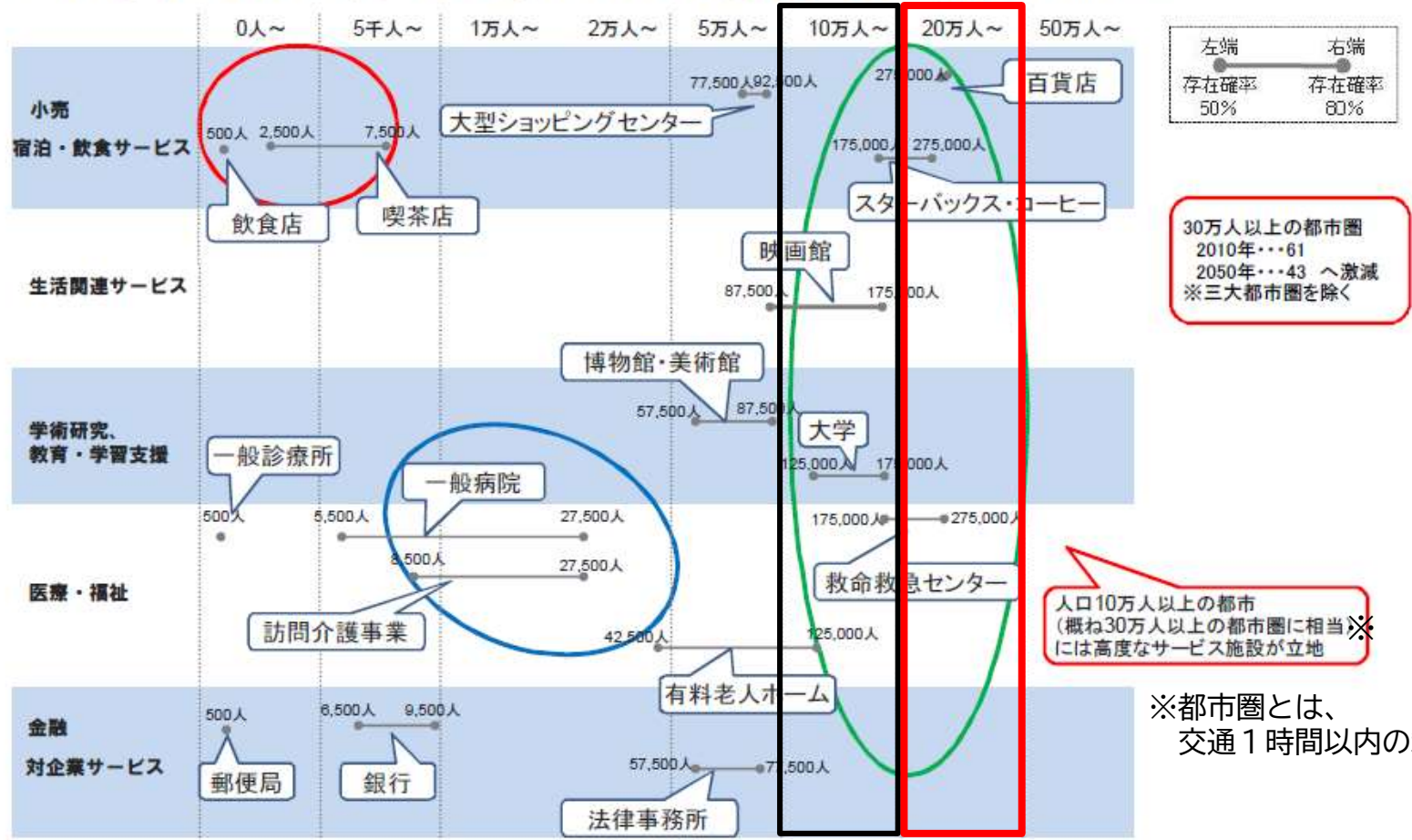
第3回 個性と安心の21地域づくり

第5回 広域県央中核都市づくり

## (2) 考え方

### ① サービス施設の立地可能性

サービス施設の立地する確率が50%及び80%となる自治体の人口規模(三大都市圏を除く)

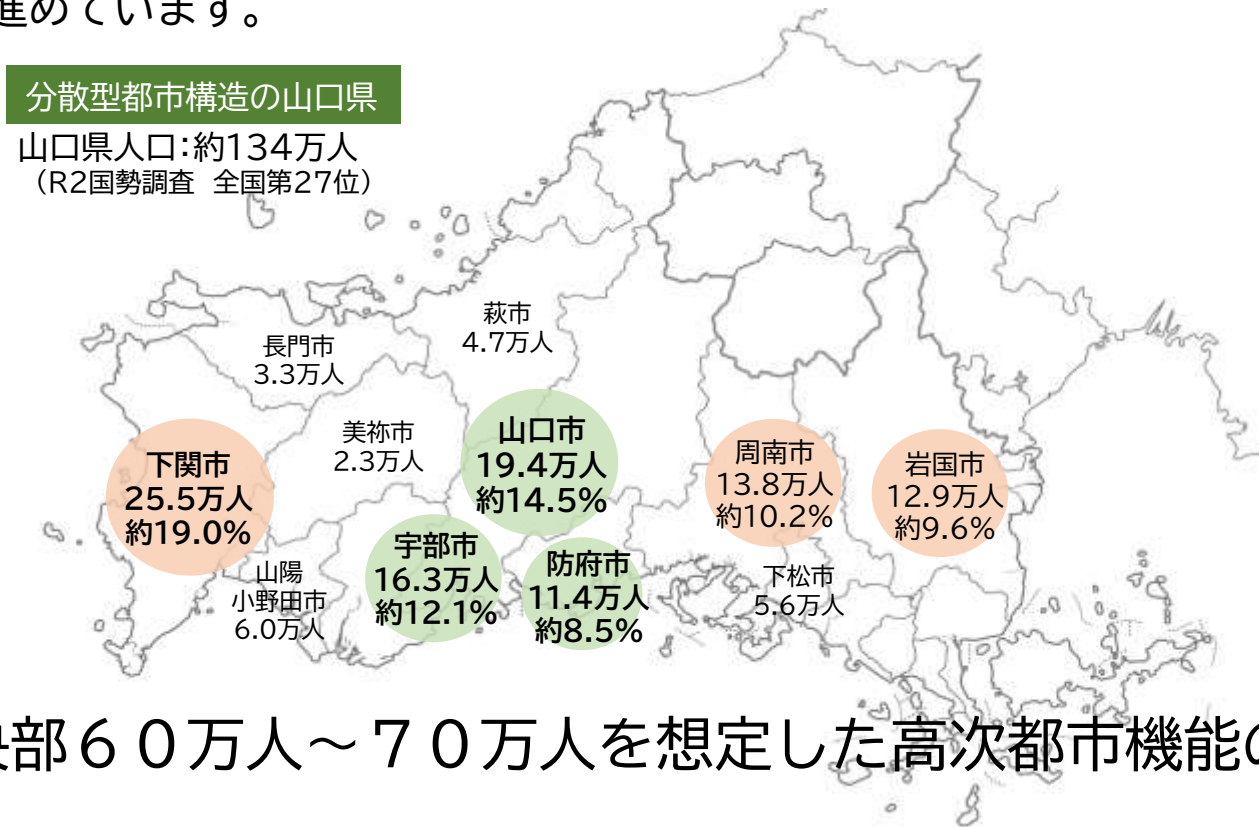


(出典)各種資料をもとに国土交通省国土政策局作成

人口10万人の都市 = 概ね30万人以上の都市圏  
 人口20万人の都市 = 概ね60万人以上の都市圏に相当

## ② 分散型都市構造における高次都市機能の集積

- ・本県や県央部が分散型都市構造にある中（第3回策定協議会 資料1 p3参照）、人口減少時代や少子高齢社会においても、若者等の働く場をしっかりと確保するためには、高次都市サービスが確立できる都市圏を形成する必要があります。
- ・本市では、県央部の人口60万人から70万人の広域経済・交流圏の形成と発展に貢献できる「広域県央中核都市づくり」として、山口都市核と小郡都市核を中心に、医療、商業、観光、教育、ビジネス支援、交通などの高次の都市機能を集積し、市内や県央部に広く提供するための積極的な社会基盤整備を進めています。

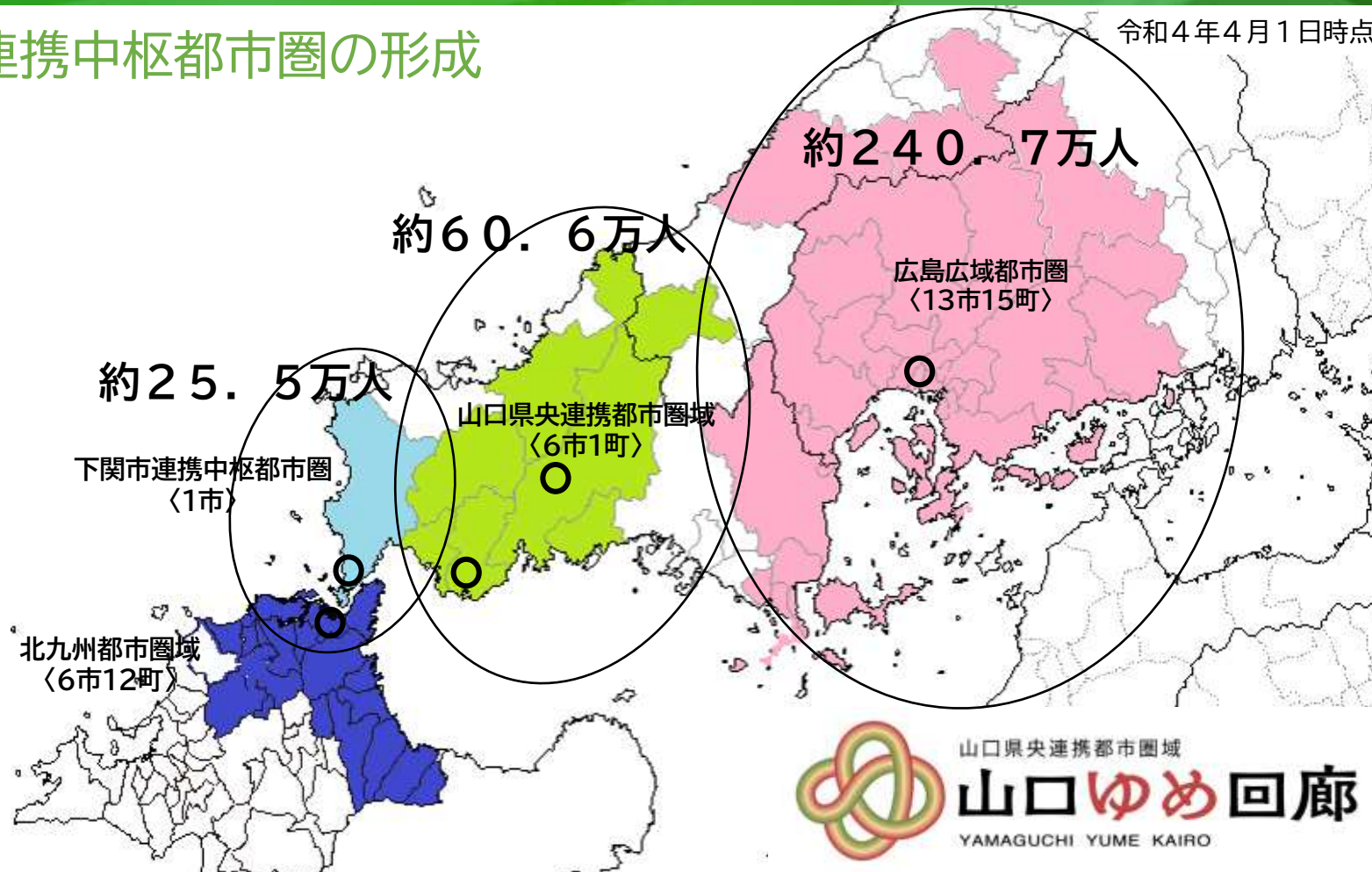


県央部60万人～70万人を想定した高次都市機能の集積



### ③ 連携中枢都市圏の形成

令和4年4月1日時点



山口県央連携都市圏域 (6市1町) 平成29年3月形成  
 【連携中枢都市】 山口市(約19.4万人)、宇部市(約16.3万人)  
 【連携市町】 萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町

・ 山口県央連携都市圏域における取組の推進

# ④ オール山口の発展



### (3) 前期基本計画のKPI（重要業績評価指標）の状況

「広域県央中核都市づくり」の推進に当たっては、第二次総合計画前期基本計画における30の施策の60の指標の定期的・継続的な進行管理により、総合的に評価をしています。

こうした中、市民の皆様にごプロジェクトの成果を分かりやすくお示しするため、「広域県央中核都市づくり」PJにおいては、以下の4つの指標を別途お示ししています。

#### 大殿・白石・湯田地域の人口

基準値 平成29(2017)年	実績値				目標値 令和4(2022)年
	平成30(2018)年	令和元(2019)年	令和2(2020)年	令和3(2021)年	
31,025人 <small>(平成29年10月1日時点)</small>	30,975人 <small>(平成30年10月1日時点)</small>	30,963人 <small>(令和元年10月1日時点)</small>	31,005人 <small>(令和2年10月1日時点)</small>	30,911人 <small>(令和3年10月1日時点)</small>	31,500人
<small>(平成27年国勢調査をもとにした推計人口)</small>			<small>(令和2年国勢調査)</small>		<small>(令和2年国勢調査をもとにした推計人口)</small>

#### 湯田温泉宿泊客数

基準値 平成28(2016)年	実績値				目標値 令和4(2022)年
	平成30(2018)年	令和元(2019)年	令和2(2020)年	令和3(2021)年	
53.8万人	52.4万人	53万人	32.1万人	31.7万人	54万人

#### 小郡地域の従業者数

基準値 平成26(2014)年度	実績値				目標値 令和4(2022)年度
	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	
19,826人	—	—	—	—	20,000人以上

※令和3年経済センサス 活動調査の確報集計が公表されていないため、実績値を取得できていません。

#### JR新山口駅の利用者数

基準値 平成27(2015)年度	実績値				目標値 令和4(2022)年度
	平成30(2018)年度	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	
2,813千人	2,981千人	2,881千人	1,653千人	1,835千人	2,900千人以上

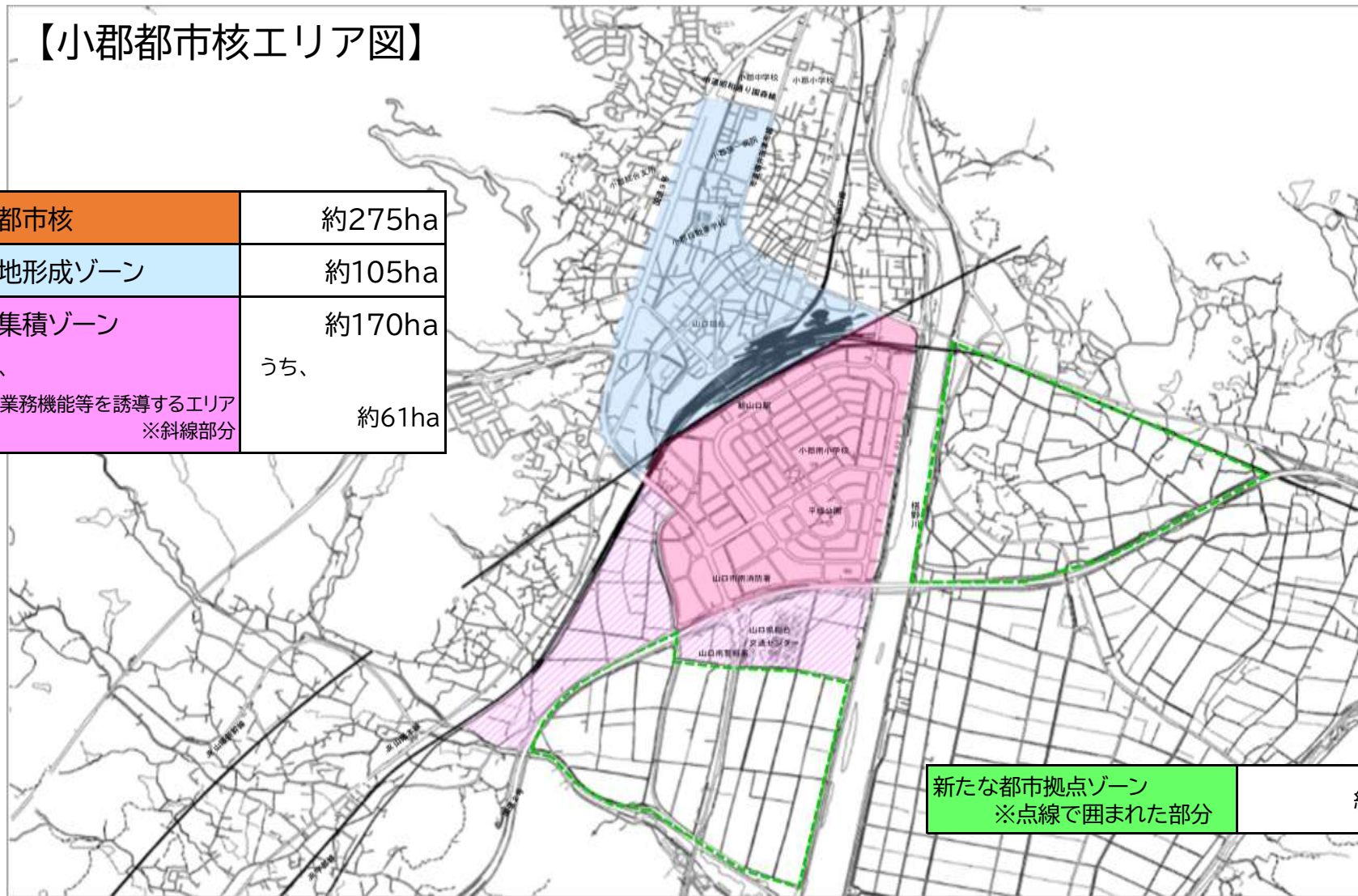


# (4) 小郡都市核づくり

広域交流拠点づくり  
～交流とビジネスを支えるまち～

【小郡都市核エリア図】

小郡都市核	約275ha
市街地形成ゾーン	約105ha
業務集積ゾーン うち、 業務機能等を誘導するエリア ※斜線部分	約170ha うち、 約61ha



新たな都市拠点ゾーン  
※点線で囲まれた部分

約190ha

# ① これまでの取組

## ア 国道9号の4車線化（小郡改良）

総事業費 約279億円



H28年2月撮影



H19年8月撮影



H28年10月撮影

# 駅南のまちづくりとの連携



H28年2月撮影

## イ 第3土地区画整理事業



- 平面駐車場が多く、土地の高度利用が図られていない状況

# ウ 新山口駅ターミナルパーク整備事業

総事業費 約156億円



南北自由通路、橋上駅舎（平成27年10月供用開始）



南北自由通路（平成27年10月供用開始）



北口駅前広場（平成30年3月供用開始）



南口駅前広場（令和2年9月完成）



# 工 山口市産業交流拠点施設（KDDI 維新ホール）の整備

令和3年7月グランドオープン

総事業費 約110億円



平土間としても利用可能なメインホール(県内最大2,000席)



産業交流スペース「Megriba」



メディフィットラボ



アカデミーハウス

## オ その他の取組

- 山口宇部道路(長谷IC)の整備
  - 新山口駅長谷線(令和通り)の整備
  - 小郡地域交流センターの整備
  - 下郷雨水排水ポンプ場の整備
  - 長通り雨水幹線の改修整備
  - 長谷ポンプ場の整備
  - 県立松風館高等学校の開校
  - 新山口駅北地区第一種市街地再開発事業への支援
  - 中領長谷線(エリア内道路)の整備
- など



新山口駅長谷線(令和通り)の整備  
(令和2年3月完成)



県立松風館高等学校の開校

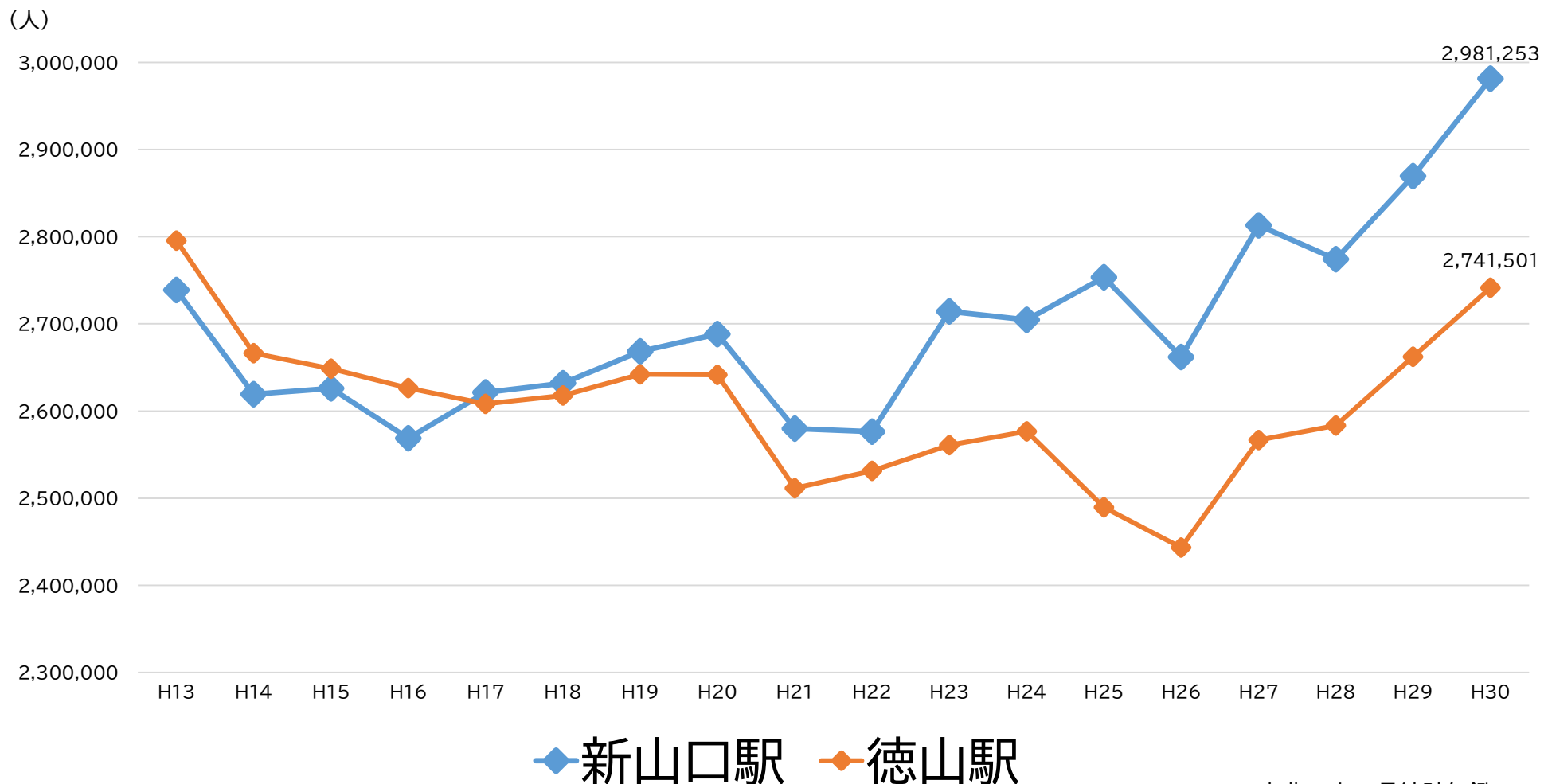


完成イメージ図  
新山口駅北地区第一種市街地再開発事業への支援



長谷ポンプ場の整備(平成31年3月完成)

## 【参考】コロナ禍前の乗車人員 新山口駅と徳山駅の比較（新幹線含む）

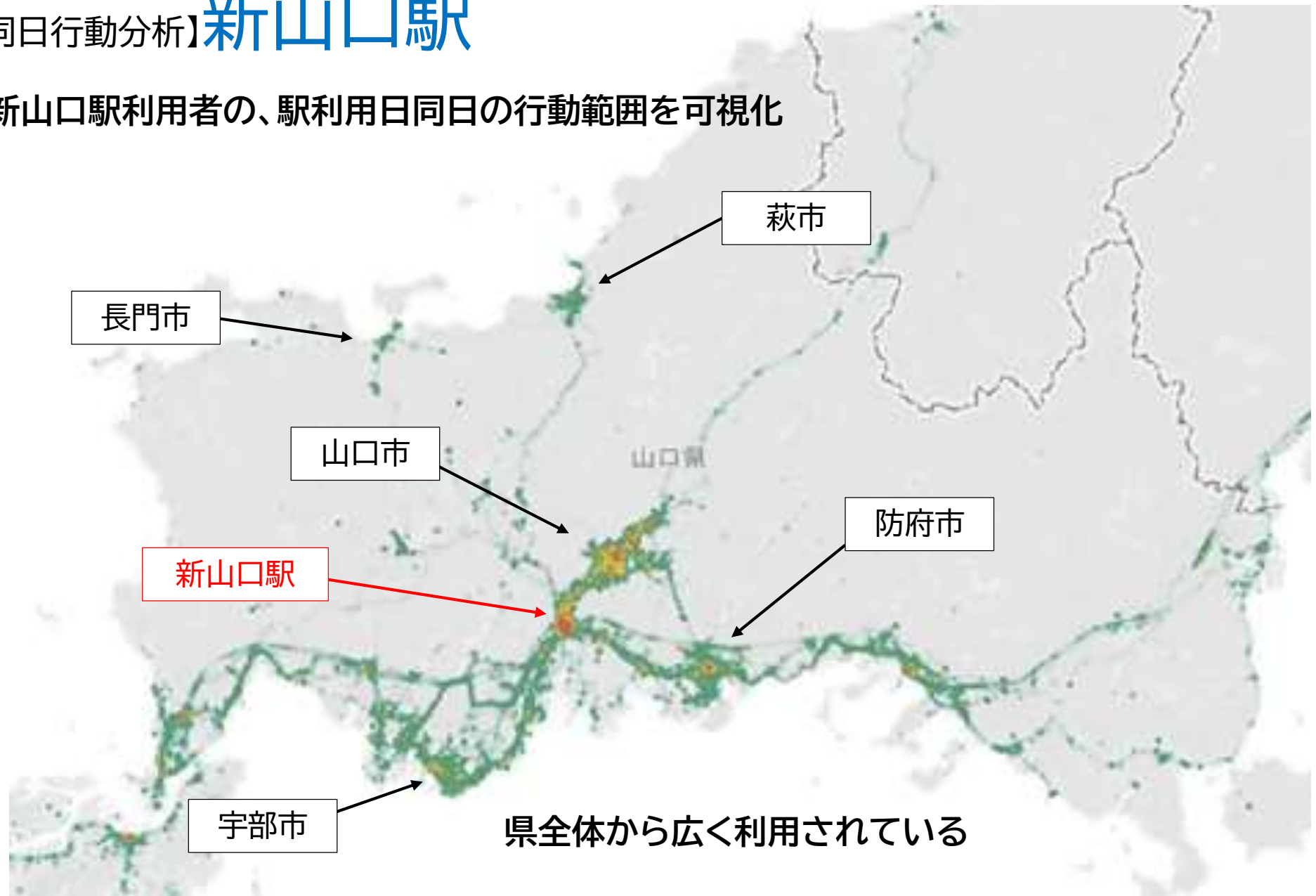


出典：山口県統計年鑑

- ・ 新山口駅と周辺の拠点性や求心力を高める都市基盤整備等を積極的に進めてきた中で、新山口駅の乗車人員は増加を続けてきました。

# 【同日行動分析】新山口駅

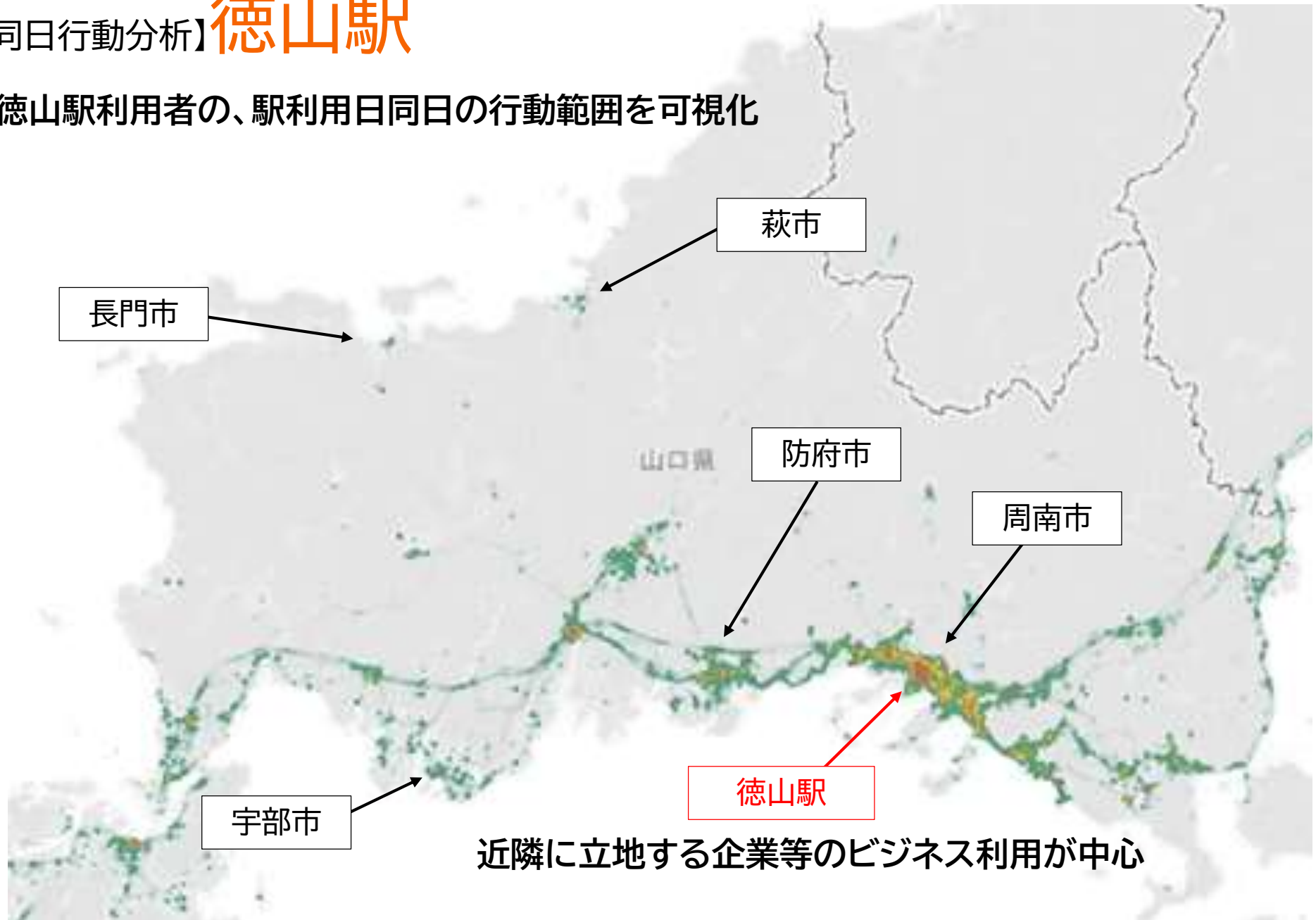
新山口駅利用者の、駅利用日同日の行動範囲を可視化



県全体から広く利用されている

# 【同日行動分析】徳山駅

徳山駅利用者の、駅利用日同日の行動範囲を可視化



## ② 広域ネットワークの強化 ア これまでの取組

- ・ 山口宇部道路の朝田 I C から嘉川 I C の開通、  
小郡 J C T の開通
- ・ 中国自動車道の湯田温泉スマート I C の整備
- ・ 交通系 I C カードシステムの導入促進
- ・ 新たなモビリティサービス (M a a S) の展開

など



朝田 I C (平成23年7月開通)



湯田温泉スマート I C  
(令和2年3月開通)



小郡 J C T (平成28年3月開通)



やまぐちMaaS用Webアプリ「ふらやま」

## イ JRローカル線を取り巻く状況

- 西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)は、令和4年4月11日に、「ローカル線に関する課題認識と情報開示について」として、輸送密度が1日2,000人未満のローカル線の収支などの経営状況を公表しました。
- 国の有識者検討会は、令和4年7月25日に、輸送密度が1,000人未満のローカル線等を対象に、国の主体的な関与により、地方自治体と鉄道事業者が、廃止ありき、存続ありきといった前提を置かずに協議する枠組みを創設することが適当とされ、協議開始後3年以内に対策を決定すべきである旨の提言をまとめられました。
- 本市においては、輸送密度が1,000人未満の区間として「山口線の宮野駅から益田駅間」が該当しています。



(資料)西日本旅客鉄道株式会社「ローカル線に関する課題認識と情報開示について」(令和4年4月)より抜粋

JRによる  
**経営状況公表路線**  
 (輸送密度678人)

**収益路線**



令和4年7月25日  
 国土交通省 検討会の提言

- 輸送密度が1,000人未滿を一つの目安とし、新たな協議の場を設置する方向性

- 県庁所在地などの拠点都市を結ぶ特急列車の運行区間で相当程度の利用がある線区などは対象外



## ウ 県への要望事項



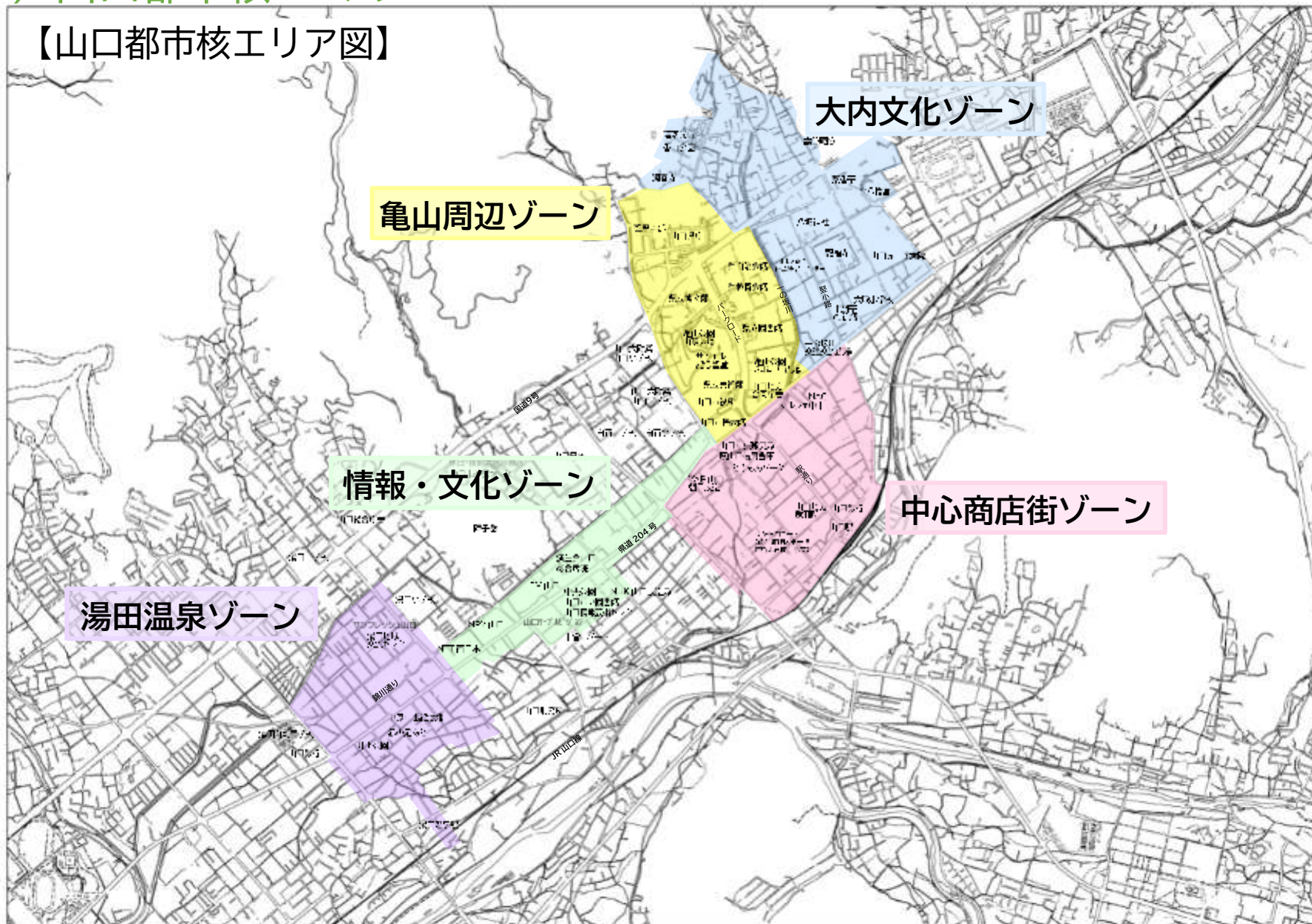
## 工 県の玄関としての機能発揮



- ・ 県の玄関、山陰圏・山陽圏の結節点として、広域的な交通結節機能や交通アクセス機能の強化
- ・ 新山口駅周辺の高度利用を図っていく必要性

## (5) 山口都市核づくり

【山口都市核エリア図】



# ① 亀山周辺ゾーン、中心商店街ゾーン、大内文化ゾーン



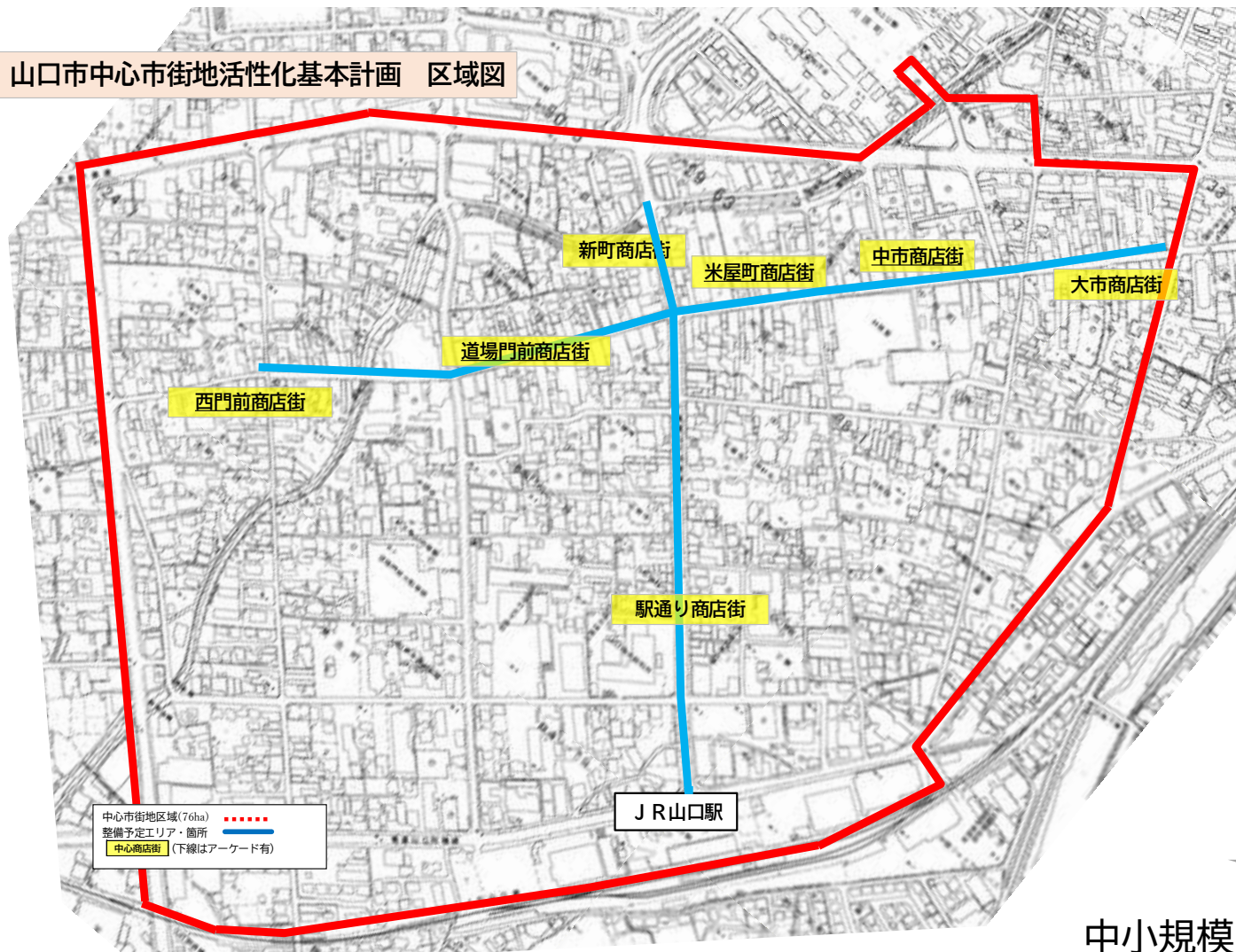
歴史や文化を未来へつむぐ  
都市空間の形成

やまぐちの暮らしと  
賑わいを支える都心形成

# ア 中心商店街ゾーン

**中心商店街ゾーン**  
やまぐちの暮らしと賑わいを支える都心形成

山口市中心市街地活性化基本計画 区域図



## 山口市中心市街地活性化基本計画

### 第1期計画 (H19.5-H25.3)

- ・ どうもんパークの整備
  - ・ マルシェ中市の整備
  - ・ スペインフィエスタなどイベントの開催
  - ・ 中心商店街ホームページ「山口街中」の運営
- など

### 第2期計画 (H26.4-R2.3)

- ・ 一の坂川交通交流広場の整備
  - ・ 黄金町地区第一種市街地再開発事業への支援
  - ・ 中市町1番地区優良建築物等整備事業への支援
  - ・ 県道宮野大歳線の歩道の整備
  - ・ 道路バリアフリー化事業の実施
  - ・ 商店街の空き店舗への出店支援
  - ・ 商店街が行うイベントへの支援
  - ・ 山口駅前地区住宅市街地総合整備事業
- など



中小規模で貸出可能な空き店舗数  
**ほぼゼロ**

## 第3期中心市街地活性化基本計画の事業推進

計画期間：令和3年7月～令和9年3月

基本方針 居心地が良く歩きたくなるまち  
多様な人々の心が弾むまち

- ・ 山口駅通りや早間田交差点、パークロード及び商店街周辺における道路のバリアフリー化や修景整備
- ・ 商店街アーケードの舗装の改修・バリアフリー化
- ・ 山口駅前地区住宅市街地総合整備事業（継続）
- ・ 商店街の空き店舗への出店につながる店舗改修費の支援
- ・ スマート商店街に向けた取組
- ・ 事業者間の連携、大学・地域との連携による新商品開発等の支援
- ・ 子どもたちが中心商店街全体でものづくり活動等を行う「まちなかクリエイティブフィールド事業」の実施
- ・ 空き店舗を活用したYCAM作品の展示
- ・ 脱炭素先行地域づくり など



新本庁舎周辺のイメージ図



早間田交差点のイメージ図



山口駅前広場の整備



山口駅通り周辺のイメージ図



まちなかクリエイティブフィールド事業  
「VIVISTOP mini in YAMAGUCHI」の様子

# イ 新本庁舎の建替え整備

**亀山周辺ゾーン**  
やまぐちの暮らしと賑わいを支える都心形成



新本庁舎の整備イメージ図(令和6年度竣工予定)



配置図

## ウ 大内文化ゾーン

**大内文化ゾーン**  
歴史や文化を未来へつむぐ都市空間の形成

- ・ 亀山公園山頂広場の整備
- ・ 大内氏館跡の整備（池泉庭園復元整備、龍福寺本堂修復など）
- ・ 歴史巡りの庭の整備をはじめとした菜香亭のリニューアル
- ・ 十朋亭周辺の整備
- ・ 山口ふるさと伝承総合センター「まなび館」のリニューアル
- ・ 大内氏遺跡築山跡の整備
- ・ 主要な道路の美装化や一部無電柱化等による修景整備
- ・ 八坂神社前広場（駐車場含む）等の整備 など



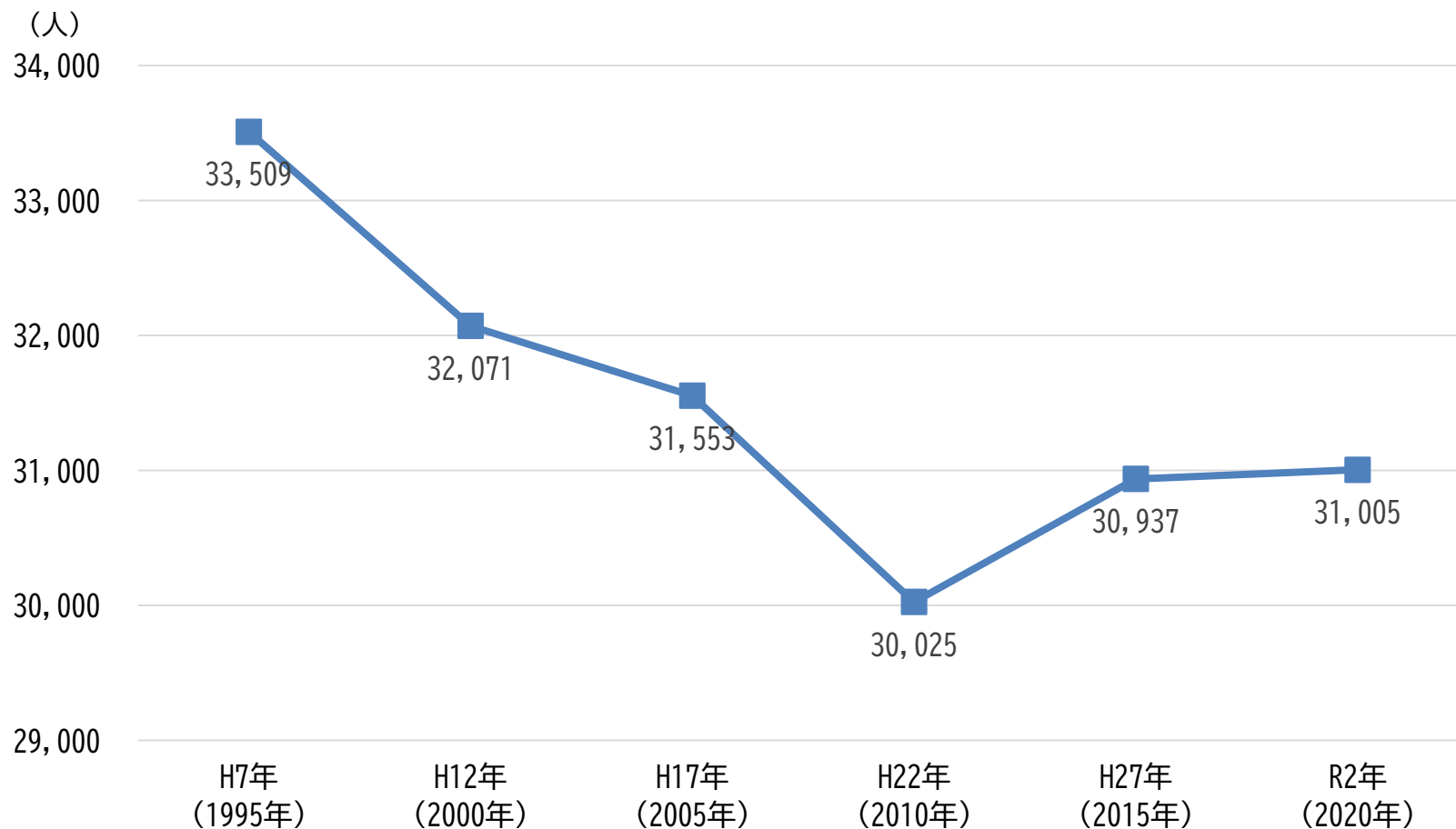
十朋亭維新館（平成30年9月開館）



豎小路周辺の修景整備イメージ図



## 工 大殿地域、白石地域、湯田地域の人口



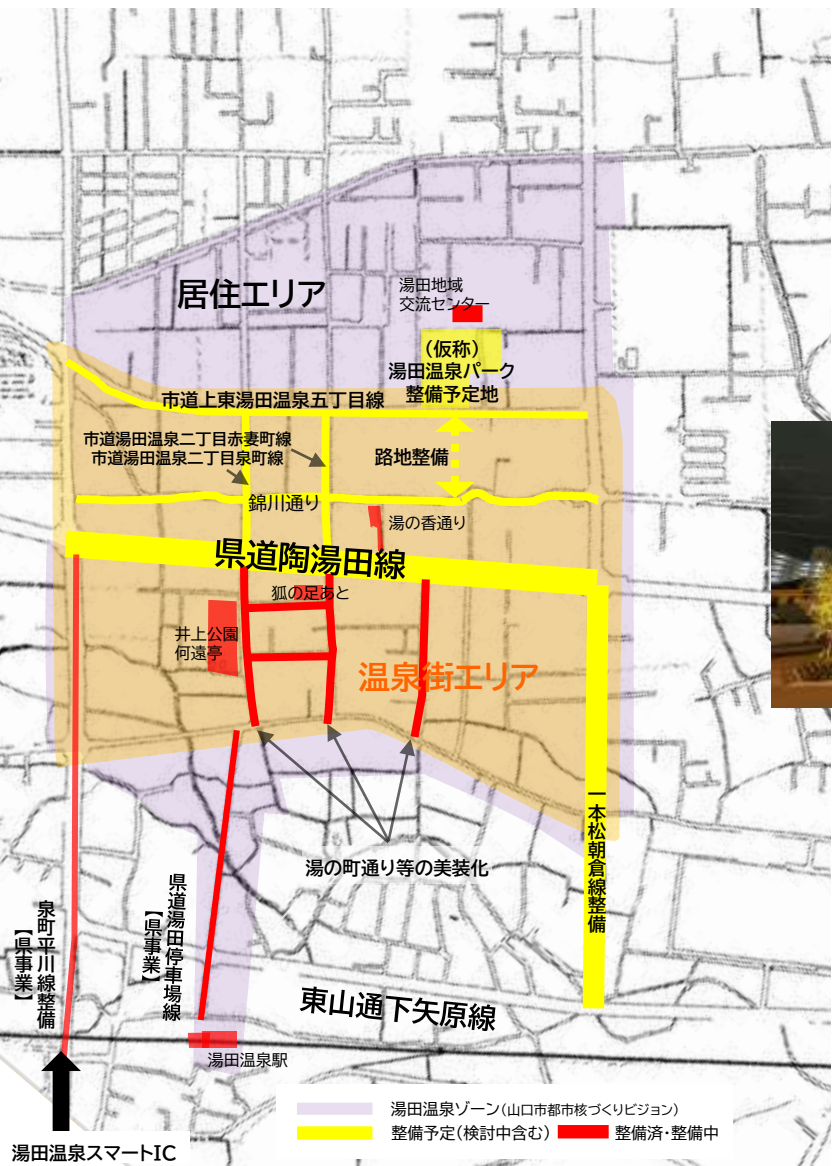
(資料) 国勢調査

- ・引き続き、山口都市核づくりを推進する必要性

## ② 湯田温泉ゾーン ア 県道陶湯田線 南側の整備

**湯田温泉ゾーン**  
住んでよし・訪れてよしの湯田温泉

- 湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」の整備
- 何遠亭を含む井上公園の整備
- 湯田温泉駅周辺の整備
- 湯の町通り等の美装化
- 湯の香通りの整備
- 湯田温泉スマートICの整備（再掲） など



狐の足あとの整備  
(平成27年3月完成)



何遠亭を含む井上公園の整備  
(平成27年12月完成)



湯田温泉駅周辺の整備  
(平成24年8月完成)



湯の町通り等の美装化  
(平成29年3月完成)



湯の香通りの整備  
(令和元年10月完成)

## イ 県道陶湯田線 北側の整備

- ・ (仮称)湯田温泉パークの整備(令和6年度供用開始予定)



外観のイメージ図



大屋根広場のイメージ図



活用イメージ(パブリックビューイング)

## ・歩道の美装化などの修景整備やバリアフリー化の推進



県道陶湯田線整備促進のイメージ図



市道上東湯田温泉五丁目線整備のイメージ図



錦川通りの修景整備のイメージ図

## ・翠山荘の跡地活用

ホテル・宿泊事業者による施設建設を期待

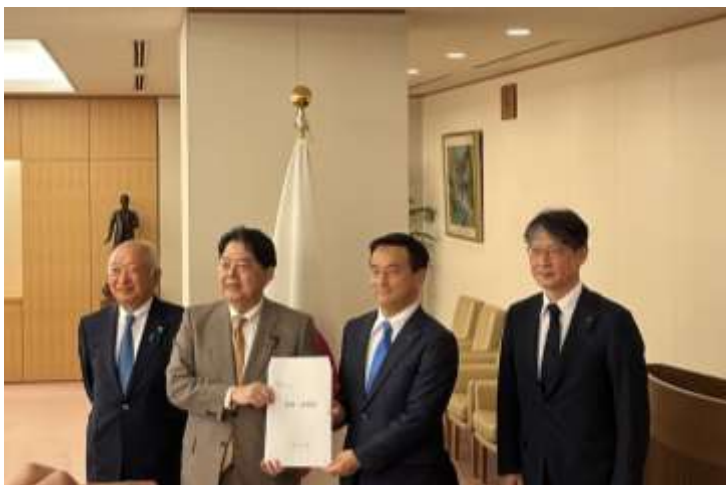
- ・ 国制度を活用した宿泊施設の撤去支援(上限1億円)
- ・ 新たに建て替えた場合の本市独自の事業承継支援制度を創設



令和3年1月に閉館した旧翠山荘

## ウ その他の取組

- G7関係閣僚会合を始めとしたMICE等の誘致
- 空き店舗及び空家への新規出店支援
- 湯田温泉白狐まつりや湯田温泉酒まつりを始めとした交流創出イベントの開催支援
- 市道 一本松朝倉線の整備 など

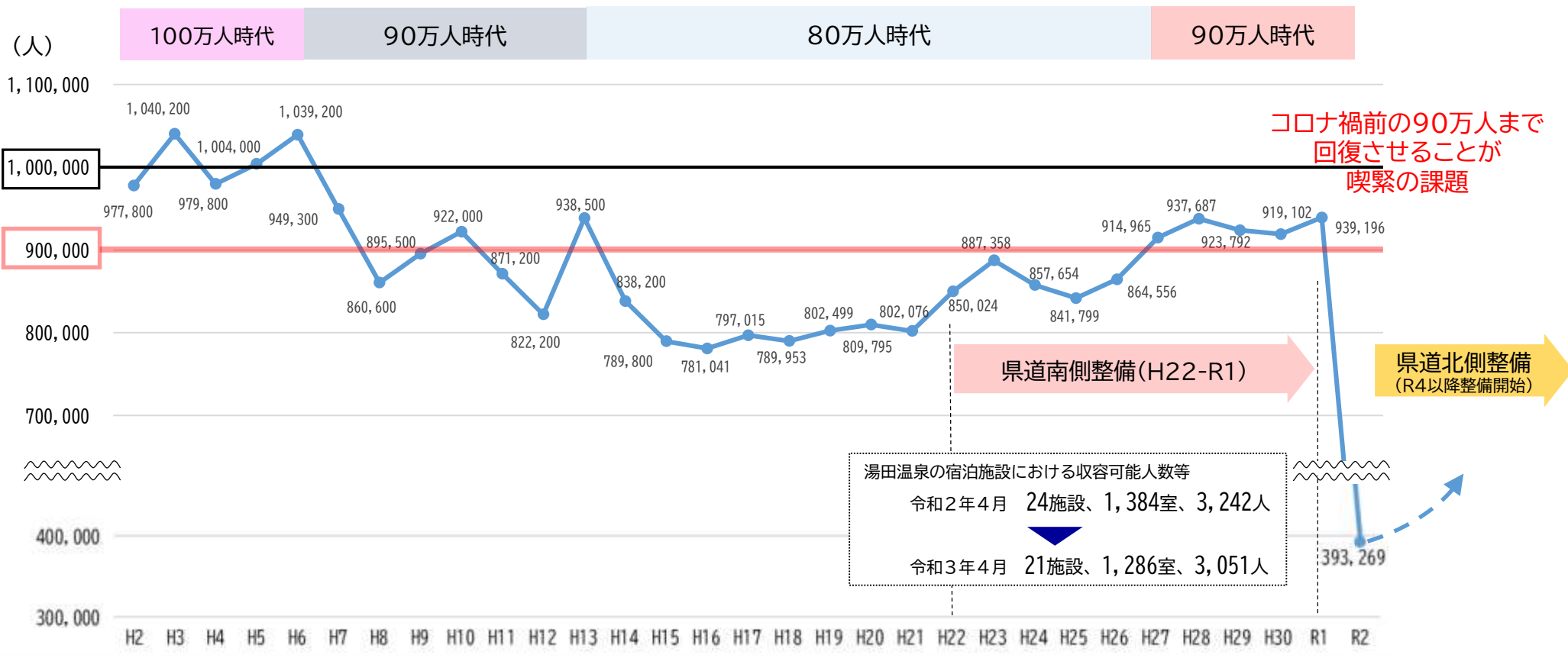


G7関係閣僚会合を始めとしたMICE等の誘致



湯田温泉酒まつり

# 工 湯田温泉の観光客数の推移



2025年大阪・関西万博に向けた湯田温泉の再生

### ③ 情報・文化ゾーン

### 情報・文化ゾーン 新たな価値を創造する情報文化都市の形成



スターバックスコーヒー山口市中央公園店  
(平成29年8月オープン)



デジタルハリウッドSTUDIO10山口  
(平成30年7月開講)



山口情報芸術センター(YCAM)



済生会山口総合病院完成イメージ図  
(令和8年完成予定)



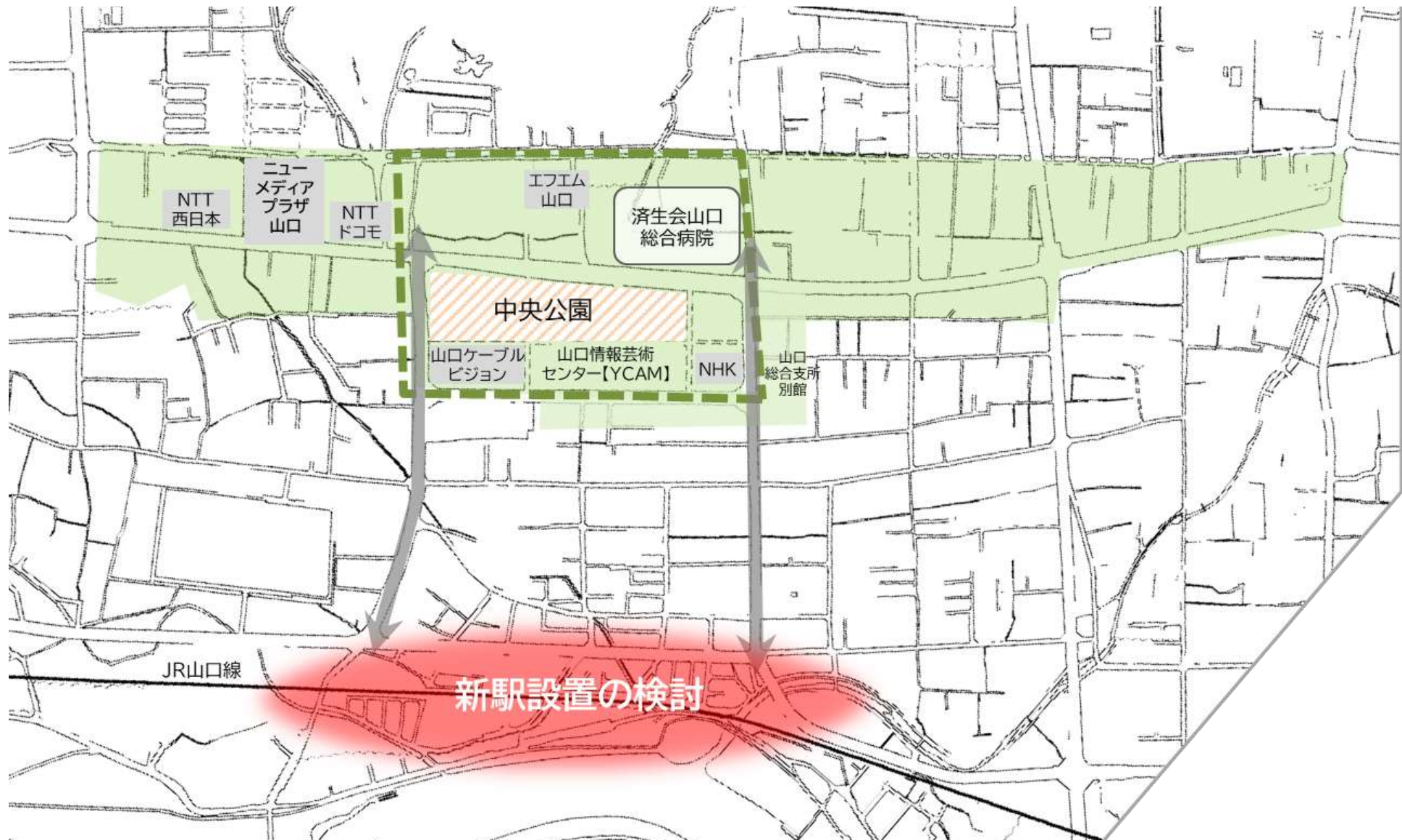
中央公園の大規模イベント空間としての整備  
(令和6年度完了予定)

- ・ スターバックス コーヒー山口市中央公園店の出店 (公園一体型は中四国地方初出店)
- ・ デジタルハリウッドSTUDIO10山口の進出
- ・ 中央公園の大規模イベント空間としての整備
- ・ 済生会山口総合病院の建替え支援



- ・ 低未利用地の更なる高度利用の必要性
- ・ イベント時における駐車場不足とアクセス性向上への対応の必要性

・ JR山口線の新駅設置の検討





## (6) 都市拠点の機能強化

### ① 拠点の考え方

#### ① 都市拠点

山口都市核と小郡都市核を中心とした拠点。

「山口都市核」では、行政、文化、教育、商業、観光等の都市の特性を高め、既存ストックの質をより高めています。

また、「小郡都市核」では、新山口駅や周辺市街地を中心に、県全体の玄関にふさわしい、交通結節やアクセス機能の強化を図り、新たな交流や広域的な経済の拠点としての都市空間を形成しています。

#### ② 地域拠点

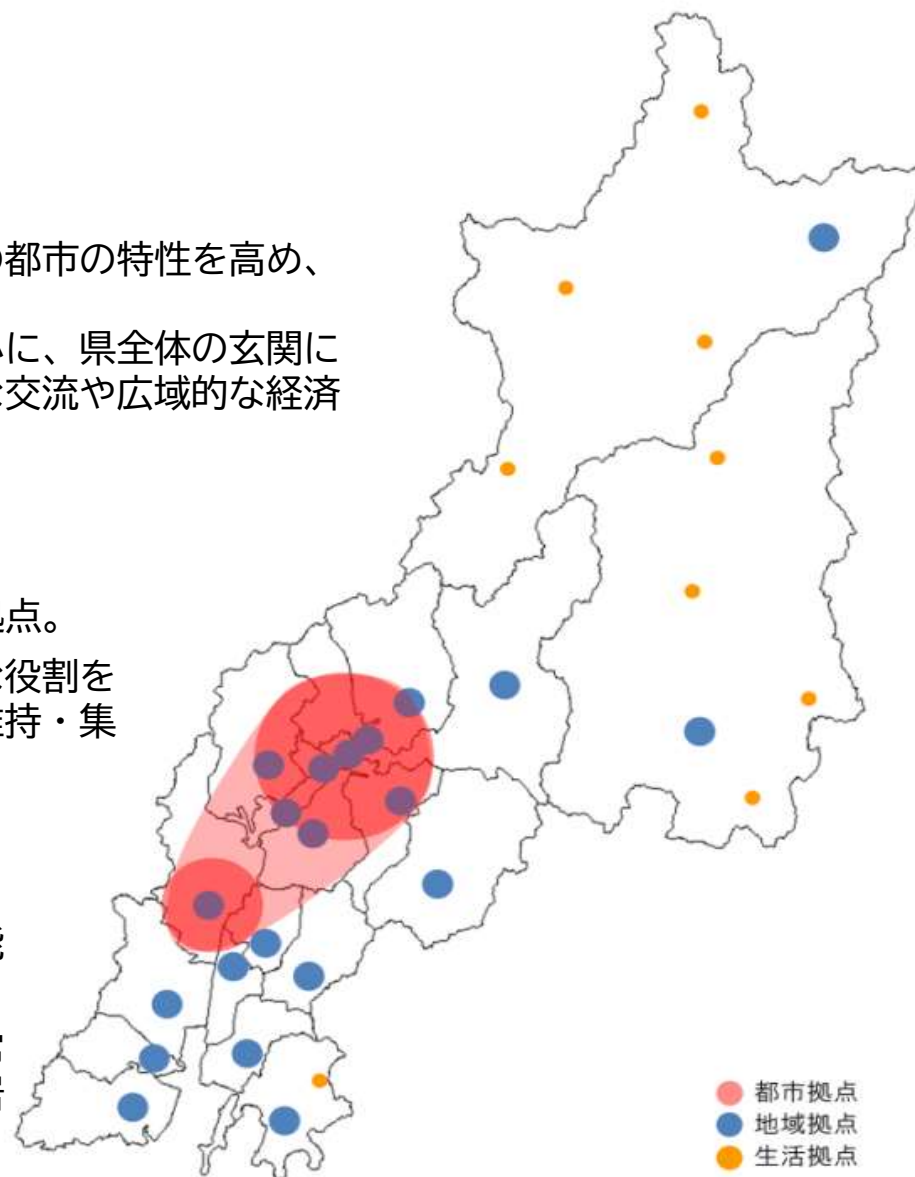
地域交流センターを中心とした生活関連機能が集積した拠点。

市内21地域ごとの地域づくり機能や交流機能の中心的な役割を担い、地域の特性と役割分担に応じて、一定の都市機能の維持・集積や、周辺の生活拠点を支える機能の集積を図っています。

#### ③ 生活拠点

地域交流センター分館等を中心とした一定の生活関連機能が維持・集積されている拠点。

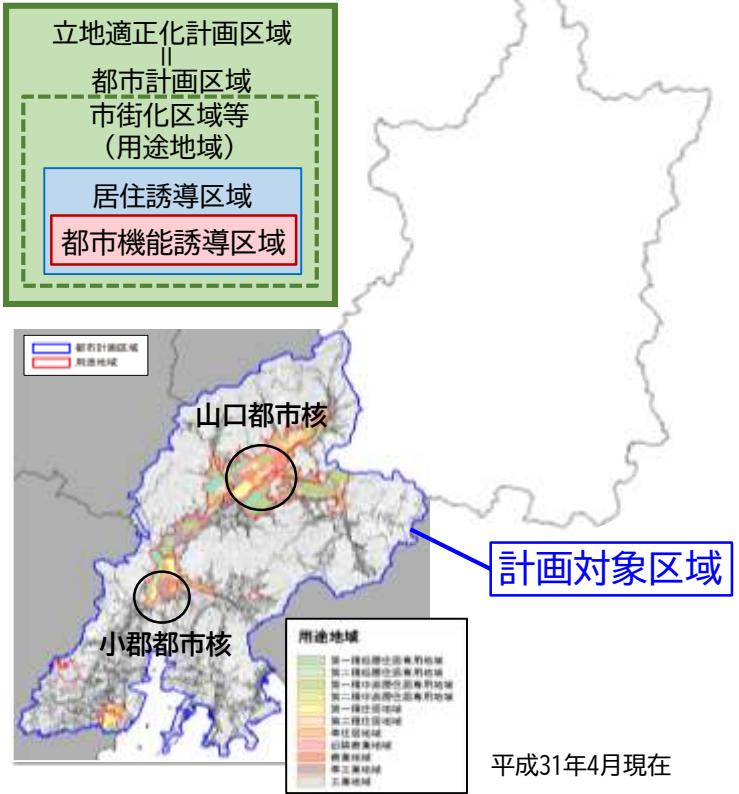
集落内外とのネットワークのもとで、実情に応じて、日常生活に必要な機能を複合的に組み合わせ、小規模分散型の居住地域の暮らしを守る役割を担っています。



## ② 立地適正化計画の策定

### 山口市版立地適正化計画 = 山口市コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり計画

- 立地適正化計画は、改正都市再生特別措置法に基づき、住宅や医療、福祉、商業施設等の都市機能増進施設の立地の適正化を図るための計画です。
- この計画では、都市の居住を誘導すべき区域(居住誘導区域)及び居住環境の向上、公共交通の確保等の施策や、都市機能増進施設を誘導すべき区域(都市機能誘導区域)及びこの区域に誘導すべき施設(誘導施設)、この誘導施設を誘導するための施策を位置付けることとされています。
- 本市においては、法定区域に加え、法定区域以外の農山村エリア等についても計画に位置付け、本市のあらゆる地域に安心して住み続けられるまちづくりを目指しています。



平成31年4月現在

#### 居住環境に関する考え方

自然環境共生エリア	都市計画区域外
居住環境保全エリア	都市計画区域内の用途白地地域
都市的居住環境エリア	都市計画区域内の用途地域
基幹ネットワーク沿線居住エリア <span style="background-color: #0000FF; color: white; padding: 2px;">法定区域</span> (都市的居住環境エリアのうち、徒歩で基幹ネットワークへアクセスできるエリア)	

都市機能誘導エリア	(都市機能誘導区域) <span style="background-color: #0000FF; color: white; padding: 2px;">法定区域</span>
・山口都市核 (p24) ・小郡都市核 (p 9) のうち、市街地形成ゾーンと業務集積ゾーンの一部	

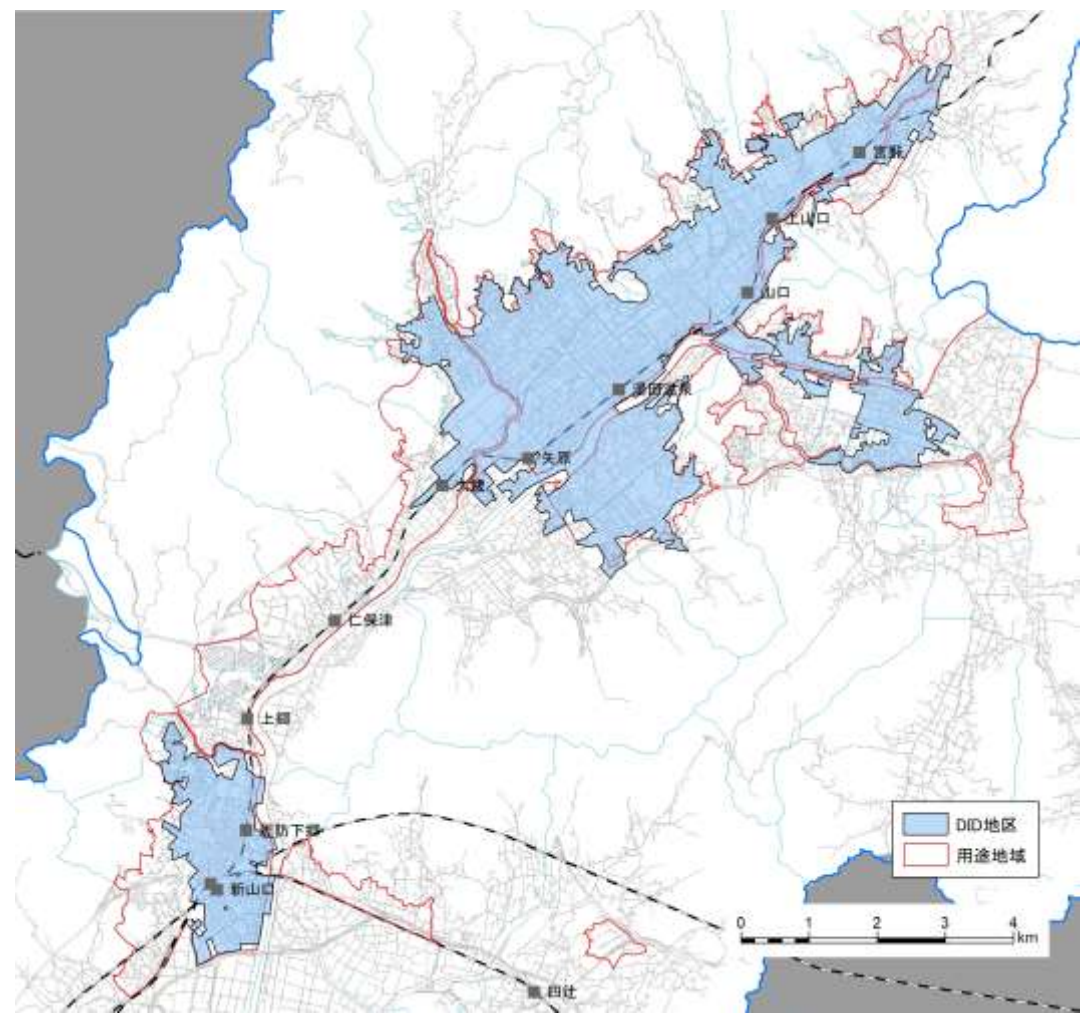
### ③ 人口集中地区（D I D地区）

#### 人口集中地区（D I D）とは

国勢調査に基づいて一定の基準により都市的地域を定めたものです。

- 国勢調査基本単位区を基礎単位として、
- 原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区等が市区町村の境界内で互いに隣接し、
- それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域を「人口集中地区」としています。

令和2（2020）年のD I D地区



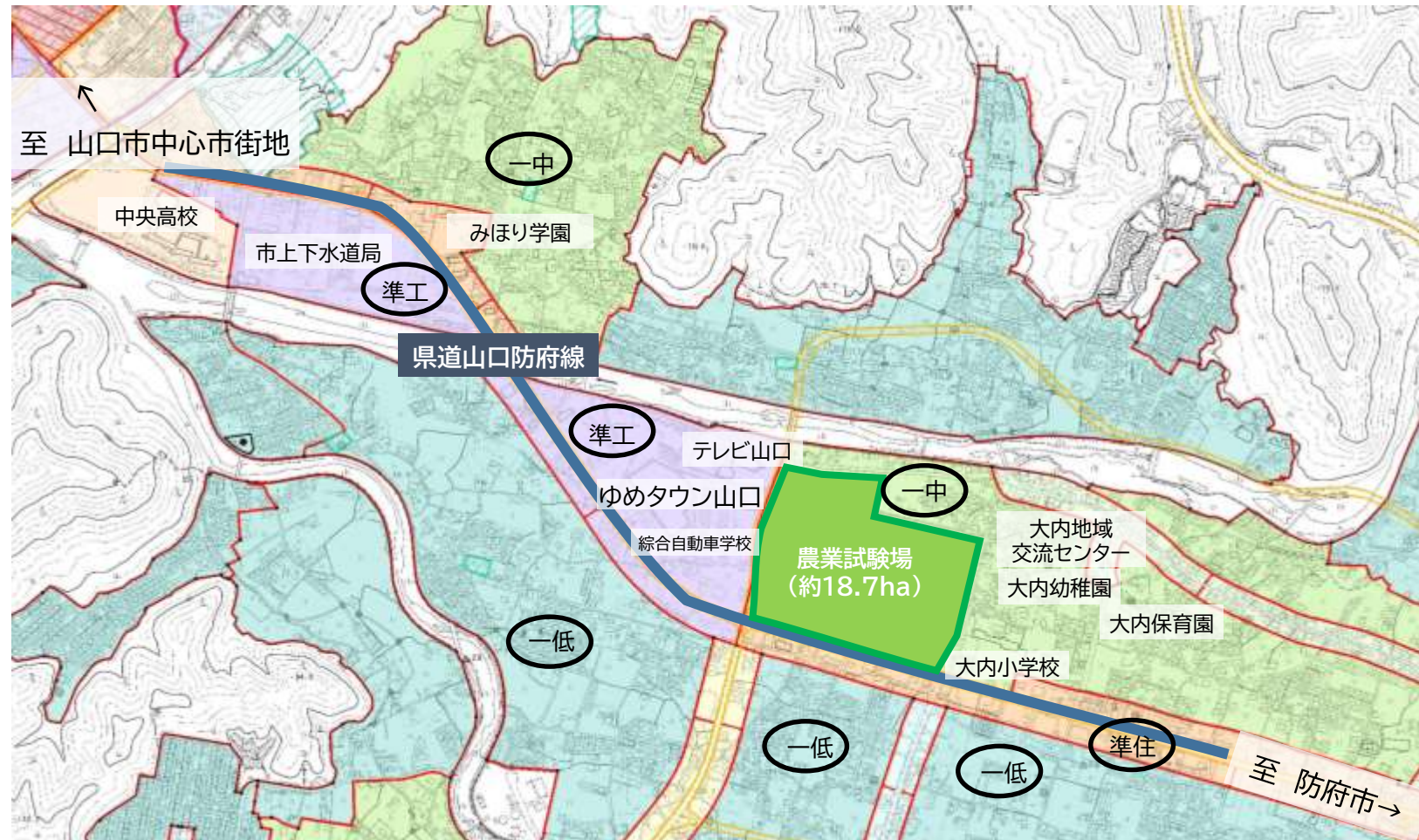
#### 人口集中地区（D I D地区）の推移

		平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)
人口 集中地区	人口(人)	91,407	91,931	99,468	98,987
	(山口地域)	75,744	76,014	81,480	83,626
	(小郡地域)	15,663	15,917	17,988	15,361
	面積(km <sup>2</sup> )	21.94	22.39	22.89	23.13
	(山口地域)	17.98	18.43	18.66	19.73
	(小郡地域)	3.96	3.96	4.23	3.40

## ④ 農業試験場跡地

- 県は、令和5年度に本市の大内地域に所在する農業試験場等を防府市の農業大学校に統合予定

農業試験場周辺の用途地域



## 農業試験場(大内小学校上空から)



- 市街地内に約18.7haの土地が生まれるため、県と本市の発展につながる跡地活用を進めたい
- 県と本市で、令和4年度に基本構想、令和5年度に跡地利用計画を策定する予定



若者や女性、子育て世代を始めとしたあらゆる世代が活躍するまちづくり

## ⑤ 山口県立大学南キャンパス

- 県は、令和5年度までに、山口県立大学南キャンパスの機能の一部を北キャンパスに集約整備され、以後、南キャンパスの空いた敷地部分を売却予定
- 地域からの要望(買い物環境・交通網の整備)を踏まえ、本市は、南キャンパス跡地について、買い物機能やJR宮野駅との連携の下での交通結節機能などのまちづくりの方向性を検討
- 同時に、こうしたまちづくりの方向性に合わせた都市計画の見直しを行い、必要な都市基盤整備を進めていくことを検討

山口県立大学南キャンパス周辺の状況

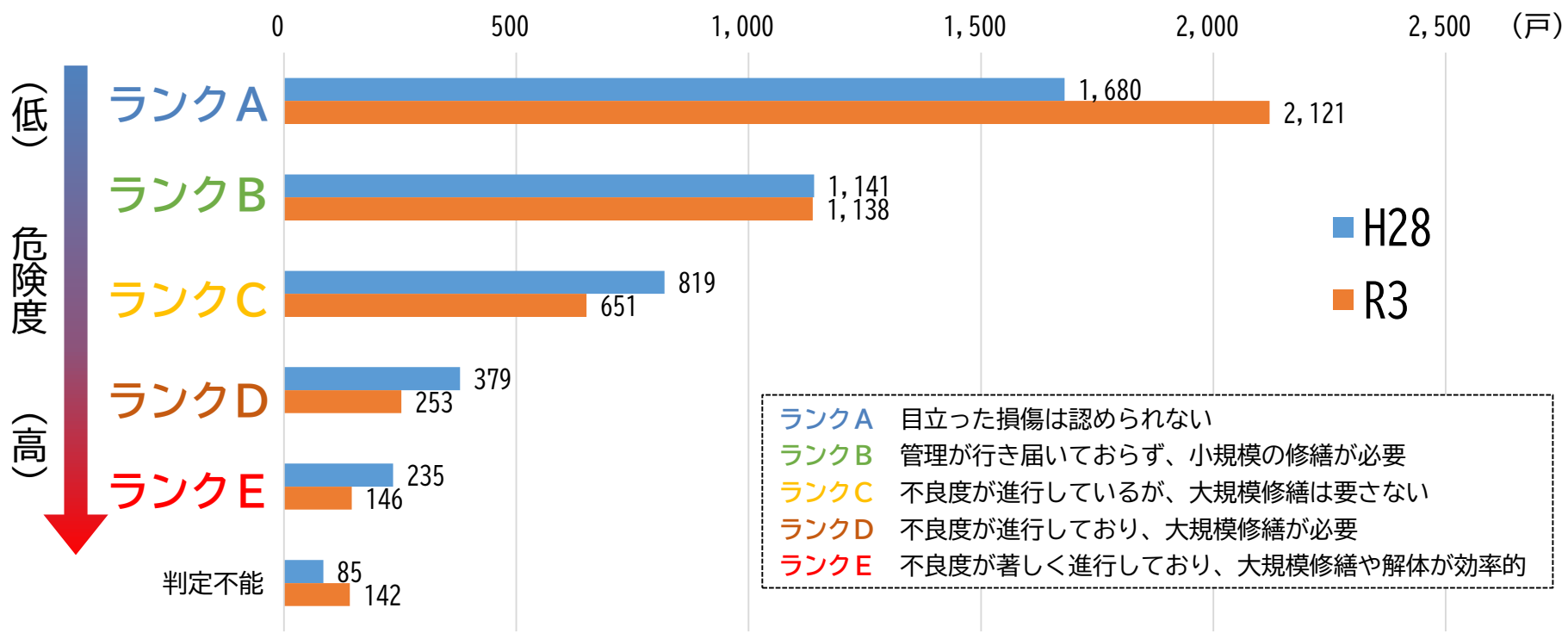


## 2 「安全安心・都市」分野

### (1) コンパクトで暮らしやすいまちづくり

#### ① 空家戸数

平成28年 **4,339戸** / 116,055戸(※) ⇒ 令和3年 **4,451戸** / 116,753戸(※)  
 空家の割合 **3.74%** **3.81%**

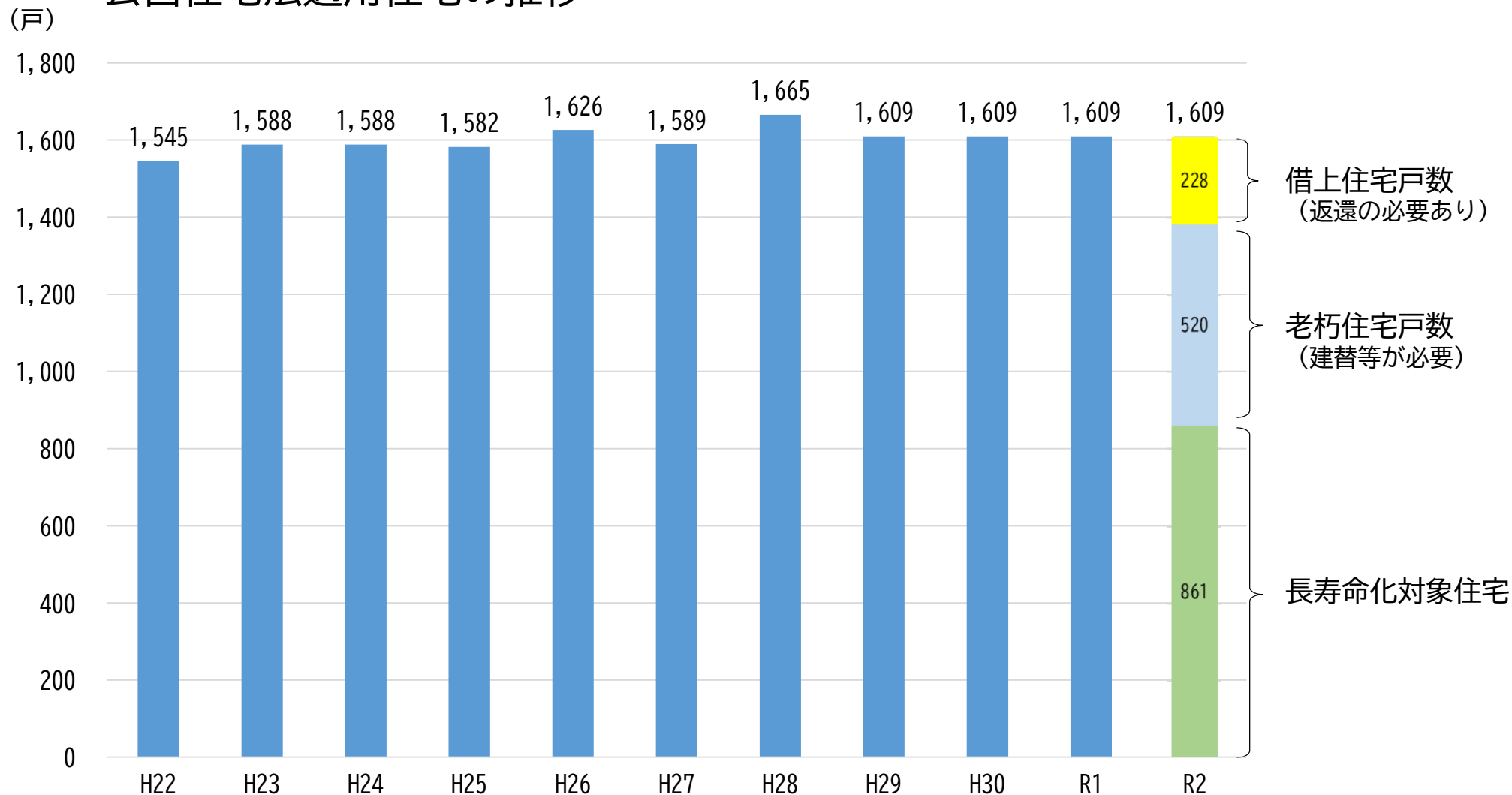


(資料) 山口市空家実態調査

(※) 空家の割合について、空家実態調査においては全体戸数を把握していないため、市税概要において把握している家屋棟数の総数をもとに算出

## ② 市営住宅ストック数

### 公営住宅法適用住宅の推移

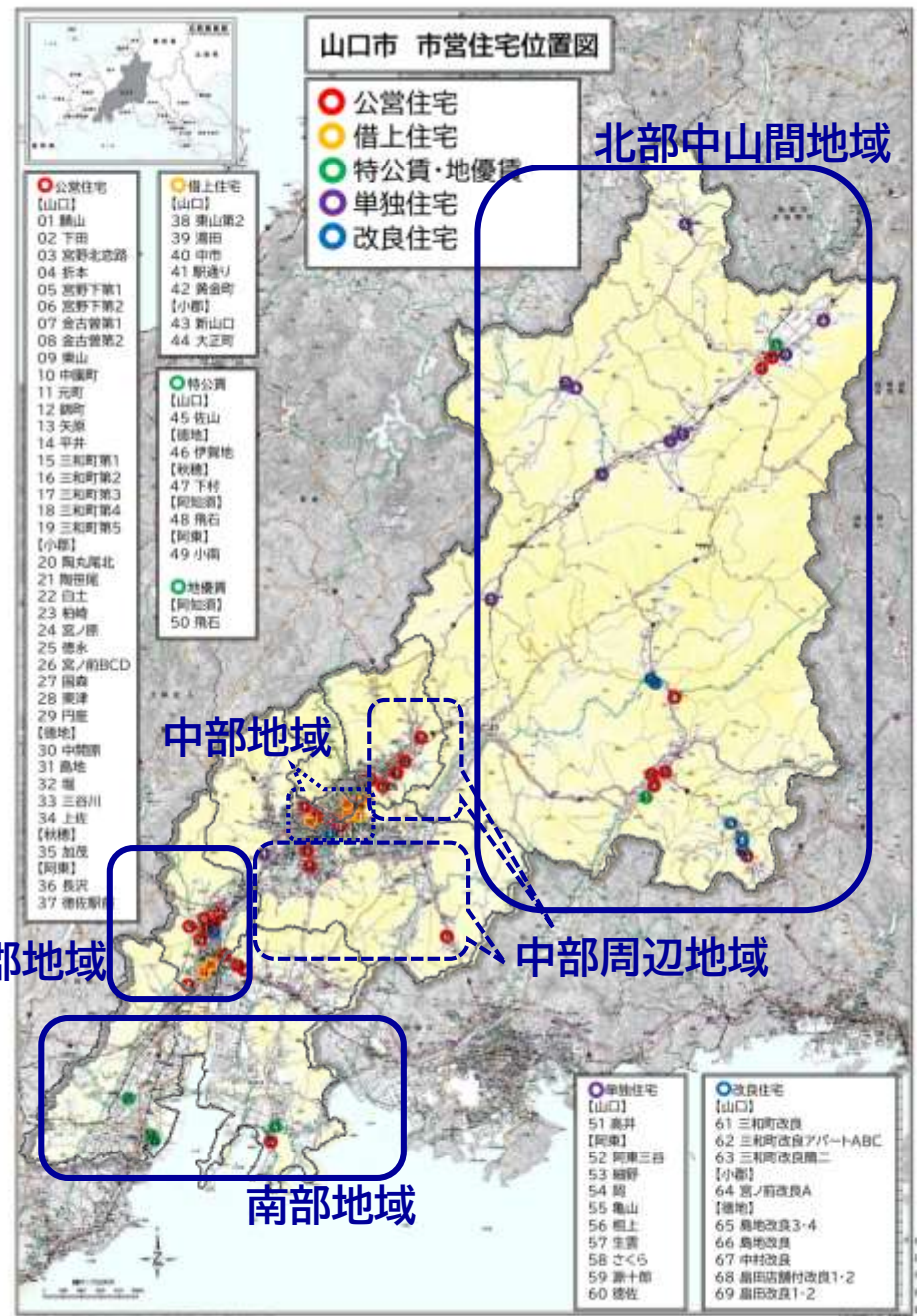


(資料) 山口市建築課



# 市営住宅の分布状況

種別及び右記地図における表記			戸数	根拠法令等	対象
市営住宅	公営住宅等	公営	● 1,381戸	公営住宅法等	住宅に困窮する低額所得者
		借上	● 228戸		
		単独	● 31戸	市営住宅条例	
		改良	● 228戸	住宅地区改良法等	
	特公賃	● 53戸	特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律等	公営住宅の入居対象外となる中堅所得者	
地優賃	公営住宅の入居対象外となる子育て世帯、障害者世帯等				



### ③ その他の取組

- ・立地適正化計画(山口市コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり計画：平成31年4月策定)の推進(再掲)
- ・山口市駐車場整備計画の見直し
- ・建築物の建築や開発行為等における景観デザインガイドラインに沿った届出制度による誘導
- ・大殿周辺地区等における道路美装化などの修景整備(再掲)
- ・中園町周辺地区における中心拠点誘導施設(中央図書館、YCAM、地域医療支援病院)へのアクセス性の向上に向けた取組(再掲)
- ・第3期山口市中心市街地活性化基本計画(令和3年6月認定)の推進(再掲)
- ・空家等の適正管理(再掲)
- ・市営住宅ストックの有効活用(再掲)
- ・住居表示の実施



- ・人口減少・少子高齢化が予測される中での、市全体の適正な土地利用を促進し、利便性・快適性に配慮された、誰もが暮らしやすいまちづくりを進める必要性

## (2) 快適な道路交通網の構築

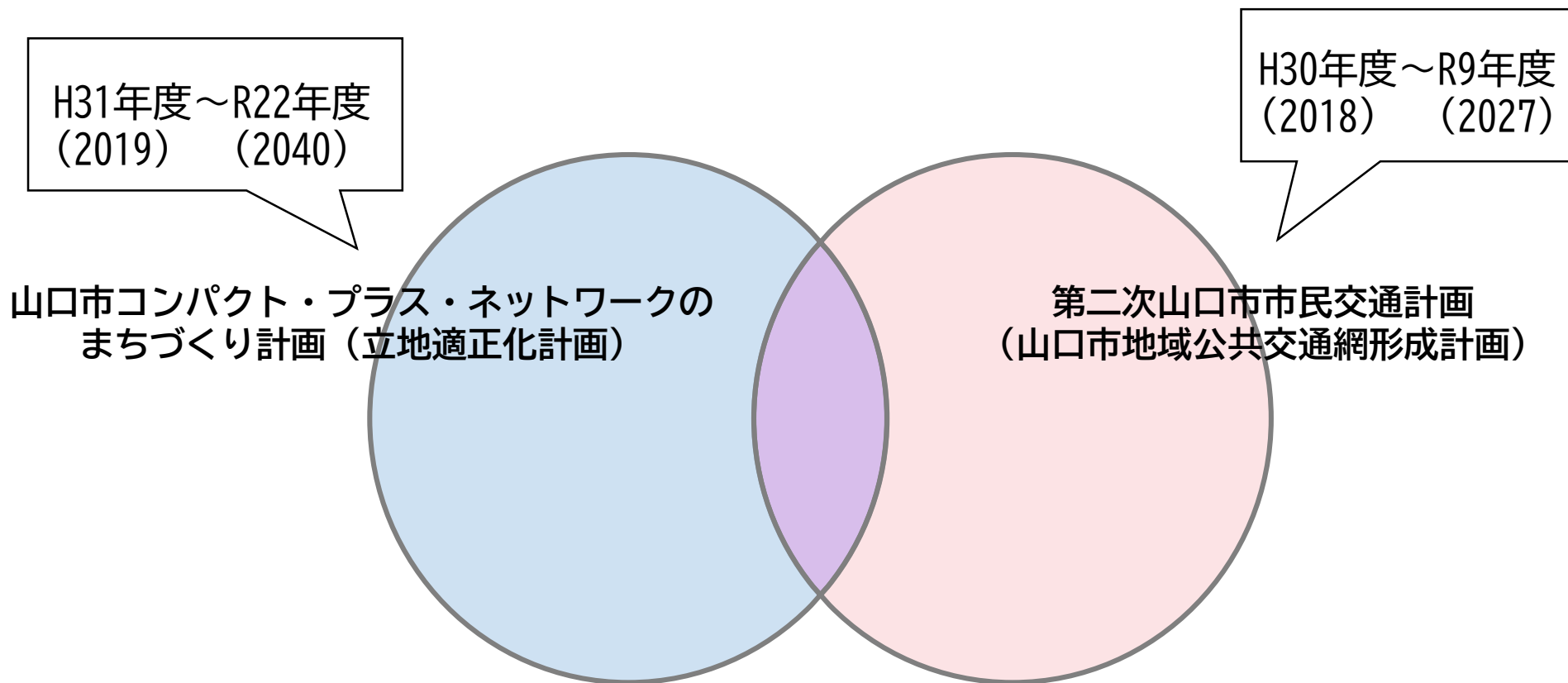
- ・ 山口市道路整備計画に基づく市道整備
- ・ 国道・県道等の幹線道路に関連する市道の整備
- ・ 地元要望等による市道の整備
- ・ 都市計画道路の整備
- ・ 新山口駅北地区重点エリア内の幹線道路の整備（再掲）
- ・ 誰もが安心して通行できる歩行空間を確保するための道路バリアフリー化事業の実施
- ・ 老朽化した市道橋の架け替え・長寿命化に向けた取組
- ・ 地域における法定外公共物の整備に対する支援
- ・ 市道や市道橋の危険・緊急を要する補修箇所の整備
- ・ 都市再生整備計画に基づく道路の美装化やバリアフリー化、誘導サインの設置、照明施設の整備等



- ・ 経年による道路・橋りょうなどの老朽化を踏まえた計画的な長寿命化の必要性
- ・ 幹線道路を始め、国道・県道等と連携した広域ネットワーク網の構築の必要性

### (3) 持続可能な公共交通の構築

#### ① 立地適正化計画と地域公共交通網形成計画



## ② 公共交通体系における分類

### 基幹交通

JR山口線



JR山陽本線、宇部線



幹線バス



コミュニティバス



### 支線交通

生活バス(徳地地域、阿東地域)



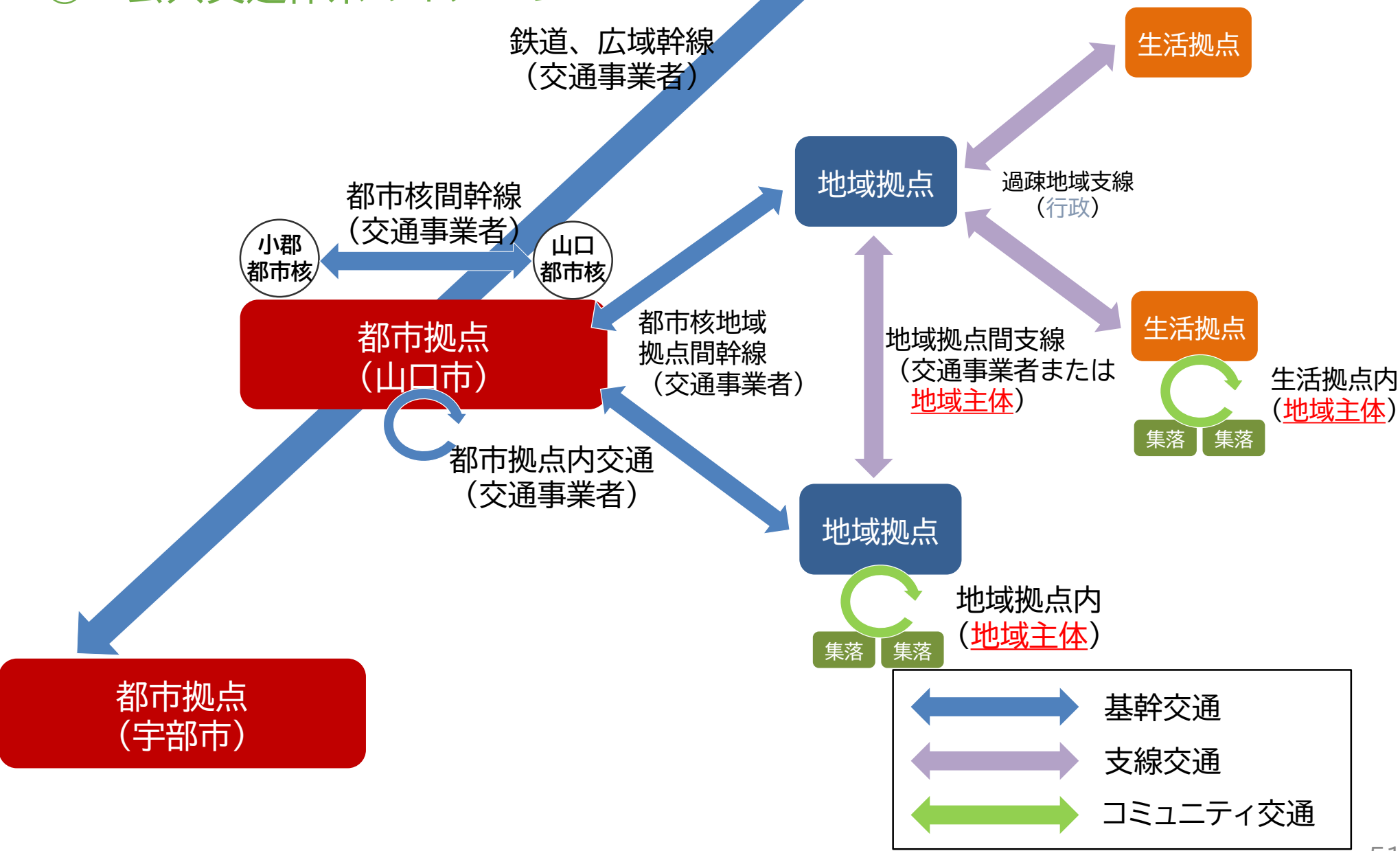
### コミュニティ交通

- ・ コミュニティタクシー

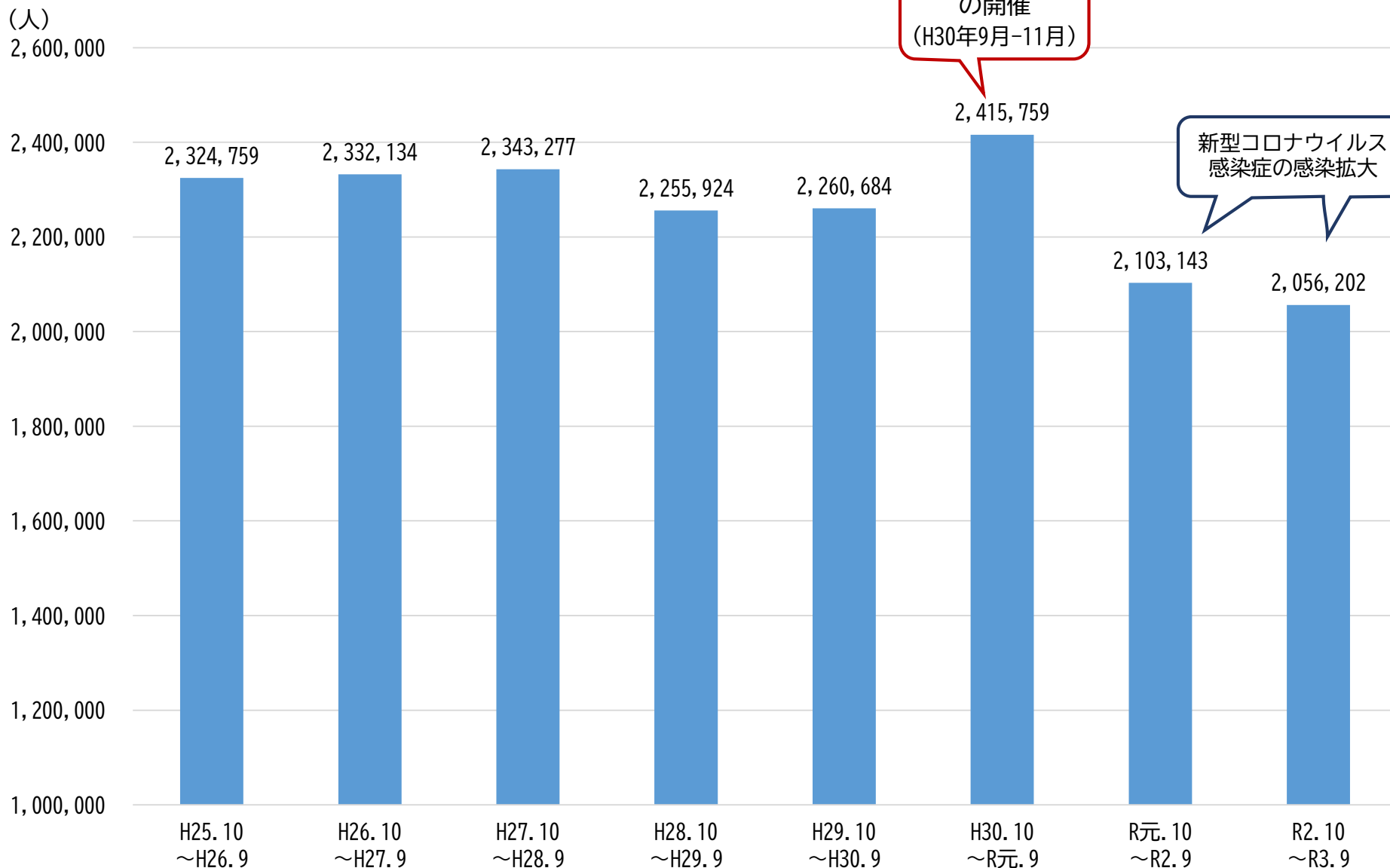


- ・ グループタクシー

### ③ 公共交通体系のイメージ



## ④ 市内走行路線バス利用者の推移



(資料) 山口市交通政策課

## ⑤ その他の取組

- ・ バス路線の維持・確保に向けた補助事業の実施
- ・ 交通系 I Cカードの段階的導入
- ・ M a a S用ウェブアプリ「ぶらやま」を活用した取組（再掲）
- ・ 徳地生活バス、阿東生活バスの運行
- ・ コミュニティバスの実証運行
- ・ コミュニティタクシーの実証運行に取り組む地域組織への支援
- ・ グループタクシーの助成
- ・ 二次交通の充実に向けたシェアサイクルの実証事業

など

- ▼
- ・ JRを始めとした公共交通機関の維持・確保の必要性
  - ・ 二次交通の維持・充実の必要性
  - ・ 利用者の利便性向上の必要性



コミュニティタクシーの実証運行  
(吉敷地域)



サイクルステーション  
(山口駅前)



スマートフォンで  
シェアサイクルの開錠が可能



※利用するには、  
専用アプリ「ecobike」  
をダウンロード



シェアサイクルの実証



## (4) 防災対策の充実

### ① 地域防災力の向上

- ・ 避難行動要支援者の地域における避難支援体制づくり
- ・ 地域における防災講座、自主防災組織の立ち上げ・活動支援、防災活動への支援などの地域防災活動促進事業の実施
- ・ 山口市防災ガイドブックの更新 など



避難行動要支援者の支援に向けた地域での情報共有  
「災害等地域支え合いマップ作成研修」(大内地域)



山口市防災ガイドブックの更新

## ② 浸水対策

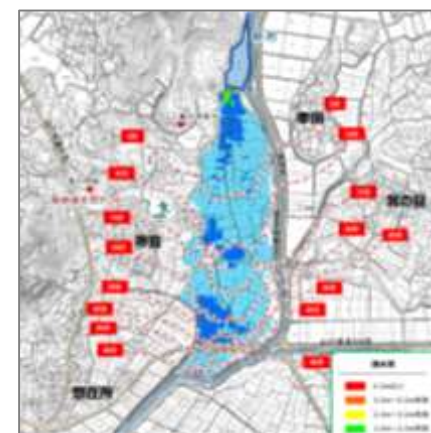
- ・ 山口市総合浸水対策計画に基づく浸水対策
  - 赤妻2号雨水貯留施設の整備（湯田地域）
  - 取水ゲートの自動化整備  
（仁保川(大内)、吉敷川(大歳)、榎野川(湯田))
  - 排水ゲートの改修（九田川(平川)）
  - 長通り雨水幹線（小郡）の改修整備（再掲）
  - 住宅における雨水貯留タンク等の設置費用の助成
- ・ 計画的な河川改修の取組
  - 油川(宮野)、中川(名田島)、大塚川(平川)、仁保地川(宮野)の改修
- ・ ため池施設災害予防事業の実施
  - 不要なため池の切開工事の実施
  - 規模縮小が必要なため池の切り下げ工事の実施
  - 防災重点農業用ため池に係るため池ハザードマップの作成など



整備中の様子  
赤妻2号雨水貯留施設の整備  
(令和3年度完成)



大雨時にゲートを全閉した様子(令和元年6月)  
取水ゲートの自動化整備(仁保川 楠井出(大内))



ため池ハザードマップ  
(秋穂二島地区 新池)

### ③ その他の取組

- ・ 海岸高潮対策（離岸堤の整備等）
- ・ モーターサイレンを始めとした防災施設等の維持管理
- ・ デジタル防災行政無線の整備
- ・ 避難所の体制等の充実に向けた取組  
（備蓄品の充実、福祉避難所の充実に向けた取組）
- ・ データ連携基盤を活用した防災情報の一元化・  
見える化の検討



新型コロナウイルス感染症に対応した  
避難所開設・運営訓練（小鯖地域）

など



- ・ 近年、激甚化する自然災害への対応
- ・ 新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症に対応したかたちでの備え
- ・ 地域福祉分野と連携した避難行動要支援者等への対応の加速化

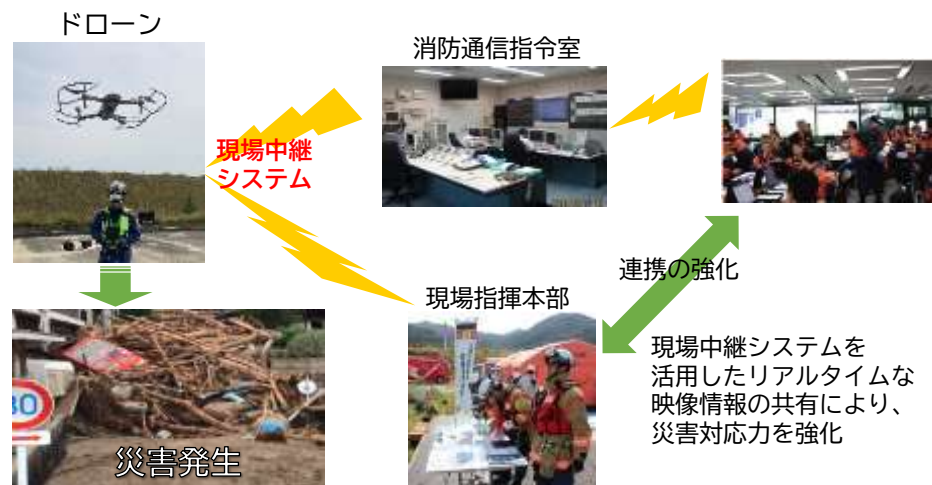
## (5) 消防・救急体制の充実

- ICTによる救急車と医療機関の連携強化  
山口市消防本部救急画像等伝送システム「やまぐちADネットプラス」の運用
- デジタル技術を活用した消防・救助活動の高度化
- 火災の延焼抑制と早期の火災鎮圧に向けた大型水槽車の配備
- 地域防災拠点となる消防車庫、消防団車両等の整備
- 地域防災を支える消防団員の育成に向けた取組（消防団大学の開講等）
- 通信指令業務の共同運用に向けた取組  
（（仮称）山口県央消防指令センターが令和7年度に運用開始予定）



など

- 消防・救急体制の更なる充実・強化の必要性
- 消防団の更なる充実・強化



デジタル技術を活用した消防・救助活動の高度化に向けた取組

## (6) 各施策の成果指標の状況

### 施策3-1 防災対策の充実

施策	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
防災対策の充実	災害の面で安全に暮らせていると感じている市民の割合	%	51.9	55.7	55.4	62.1	63.9	55.0
1 防災意識の向上	災害への備えをしている市民の割合	%	30.9	33.7	33.7	42.3	40.9	35.0
	(上記指標のうち) 緊急時の避難場所を知っている市民の割合	%	58.4	64.2	66.3	69.2	66.5	70.0
	災害時にどのような行動をしたらよいか認識している市民の割合	%	28.3	27.7	26.3	30.8	29.5	40.0
2 地域防災力の向上	自主防災組織率	%	46.8	53.1	54.5	57.6	58.2	61.0
	防災訓練参加者率	%	31.7	30.6	34.9	29.2	27.4	40.0
3 浸水対策の推進	河川整備率	%	57.8	62.3	65.1	67.2	68.8	66.1
	浸水対策重点実施地区数	地区	3	3	3	4	4	6
	ため池整備率	%	12.8	14.3	14.3	17.1	20.1	25.2
4 海岸高潮対策の充実	高潮時に浸水が想定される戸数	戸	320	310	310	320	320	320
	海岸保全施設整備率	%	11.7	15.2	16.4	17.5	20.8	64.7
5 初動・復旧体制の充実	避難所充足率	%	38.7	66.0	66.7	67.0	67.4	45.0
	情報伝達手段数(防災行政無線、広報車等)	件	5	6	6	7	8	6
6 危機管理体制の充実	危機管理の内部体制が整っていると思う職員割合	%	86.9	85.3	88.0	88.3	90.4	90.0

### 施策3-2 消防・救急体制の充実

施策	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
消防・救急体制の充実	消防・救急体制が整っていると思う市民の割合	%	67.1	61.4	61.4	64.6	67.6	74.0
1 救急・救助高度化の推進	心肺停止患者の救命率（1か月後の生存率）	%	13.0	18.2	16.0	10.5	12.5	17.0
	救命講習の受講者数	人	56,000	84,622	91,447	92,979	94,897	91,000
	救急ステーション認定事業所数	件	50	56	59	58	58	75
2 消防体制の充実	火災・救急現場への平均到着時間	分	8.0	8.3	8.3	8.6	9.1	7.9
	消防団員の充足率	%	92.2	92.7	88.1	83.8	82.2	94.2
	建物火災の延焼阻止率	%	89.6	88.5	93.1	95.6	92.3	93.4
	消防団協力事業所数	件	24	26	23	24	25	37
3 火災予防の推進	防火対策をしている市民の割合	%	15.3	17.8	18.6	18.3	17.1	30.0
	防火管理者の選任率	%	82.8	87.9	88.4	88.7	89.7	83.5

### 施策3-7 コンパクトで暮らしやすいまちづくり

施策	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
コンパクトで暮らしやすいまちづくり	調和や秩序がとれたまちになっていると思う市民の割合	%	86.3	88.6	89.1	90.5	91.9	維持
1 適正かつ合理的な土地利用の推進	用途地域内において、有効に利用されていない土地の割合	%	14.8	14.5	14.2	14.0	13.9	13.8
2 潤いのある緑環境の創出	公園が利用しやすいと思う市民の割合	%	74.9	78.3	78.2	81.0	80.5	75.0
3 良好な景観の形成	景観やまちなみに満足している市民の割合	%	81.8	82.0	80.5	84.3	83.0	85.0
4 中心市街地活性化の推進	来街者数	人	54,798	47,733	49,649	39,471	48,251	52,350
	中心市街地内の人口	人	4,476	4,543	4,477	4,617	4,647	4,520
5 良好な住環境の整備	用途地域内における開発許可件数（平成20年度からの累計）	件	349	392	426	451	476	525
	用途地域内における開発許可面積（平成20年度からの累計）	m <sup>2</sup>	991,293	1,125,996	1,237,122	1,316,275	1,398,502	1,422,493
	市が関与して解体に至った老朽危険空家の件数（10年間の累計：H30-R9）	件	0	24	59	85	104	100
	空家等に関する各種相談の解決率（15年間の累計：H25-R9）	%	46.4	55.1	60.2	64.0	67.9	60.0
6 市営住宅ストックの有効活用	入居率	%	83.0	78.7	76.6	74.2	73.2	85.0
	個別改善住宅の改修率	%	67.4	69.8	71.7	75.5	77.4	72.0

### 施策 3-8 快適な道路交通網の構築

施策	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
基本事業								
快適な道路交通網の構築	道路の整備状況について満足であると思う市民の割合	%	78.7	77.2	76.3	79.7	78.9	81.0
	市内での車の移動が円滑であると思う市民の割合	%	73.8	75.7	75.6	76.1	76.7	76.0
1 暮らしを支える道づくり	生活道路の整備状況について満足であると思う市民の割合	%	74.6	73.0	71.9	76.3	75.7	77.0
	歩道の整備状況について満足であると思う市民の割合	%	65.0	66.0	65.9	69.3	68.1	67.0
2 未来につながる道づくり	幹線道路の整備状況について満足であると思う市民の割合	%	82.7	81.3	80.7	83.1	82.0	85.0
3 道路・橋梁の維持管理	道路の破損等に起因して発生した事故件数	件	7	5	6	8	5	5

### 施策 3-9 持続可能な公共交通の構築

施策	成果指標名	単位	基準値	実績値 (H30)	実績値 (R1)	実績値 (R2)	実績値 (R3)	目標値 (R4)
基本事業								
持続可能な公共交通の構築	月1回以上公共交通機関を利用する市民の割合	%	19.7	21.9	23.7	15.5	15.5	25.0
	公共交通機関の利便性に満足している市民の割合	%	50.4	49.4	48.0	54.1	53.2	54.3
1 利便性の高い基幹交通ネットワークの構築	バスの利便性に満足している市民の割合	%	49.3	46.6	45.7	51.6	51.7	53.0
	鉄道の利便性に満足している市民の割合	%	46.9	47.8	45.0	51.3	50.2	51.0
	鉄道駅等の交通結節点における乗り換えの利便性に満足している市民の割合	%	49.8	47.7	45.3	53.5	52.2	55.0
2 地域にふさわしい交通のしくみの構築	コミュニティ交通の利便性に満足している市民の割合	%	55.6	55.5	55.8	60.3	58.8	58.0



### Ⅲ 今後の予定

# 1 策定協議会の今後の予定

発表委員や報告内容は、変更となる可能性があります。

- |  |  |
|--|--|
| 第5回（令和4年9月1日（木））<br>15：00－17：00 防長苑にて      | ・まちづくりの状況（広域県央中核都市づくり、安全安心・都市分野）<br>・各委員からの話題提供（3人）<br>坂本 京子 委員（防災）、白石 レイ 委員（都市計画・建築計画）、<br>鈴木 春菜 委員（交通）                           |
| 第6回（令和4年10月6日（木））<br>15：00－17：00 防長苑にて     | ・まちづくりの状況（教育・文化・スポーツ分野、産業・観光分野）<br>・各委員からの話題提供（3人）<br>桑原 智恵 委員（文化）、小山 文彦 委員（スポーツ）、<br>小野 哲 委員（産業・雇用）                               |
| 第7回（令和4年10月27日（木））<br>15：00－17：30（予定）防長苑にて | ・まちづくりの状況（環境分野、協働・行政分野）<br>・骨子案（全体を通じての課題整理）について<br>・各委員からの話題提供（4人）<br>安光 忠彦 委員（地域自治）、粉川 妙 委員（地域活性化）、<br>手嶋 郁夫 委員（行政）、郡 さやか 委員（公募） |
| 第8回（令和4年11月17日（木））<br>15：00－17：00 防長苑にて    | 素案について   |
| 第9回（令和5年1月上旬）                              | 最終案について  |
| 令和5年2月上旬                                   | 答申   |

## 2 後期基本計画策定の全体スケジュール

